大学番号 私立104

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 研究科の設置

注1



東京農業大学大学院 生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(博士前期課程) 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画広報室

戦名・氏名 ま任 清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

(夜間) 同上

e -mail <u>kaikaku@nodai.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命科学研究科

<1	バイオサイエンス専攻(M)>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 9
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 23
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 24

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人東京農業大学

- (2) 大 学 名 東京農業大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学長	(エグチ フミオ) 江口 文陽 (令和3年4月)		
研究科委員長	(サカタ ヨウイチ) 坂田 洋一 (令和3年4月)		
専攻主任	(アサイ ケイ) 朝井 計 (令和3年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/11 /5
生命科学研究科 バイオサイエンス専攻 修士(農学)	農学関係	年 2	人 30	年次 人 一		新規入学者を 募集中	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	令和:	3 年度	平均入学定員		備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
A 入学定員	—人 (- 「 -	—人 —) — 1	—人 (- 「 -	—人 -) - 1	—人 (- 「 -	—人 -) - 1	—人 (- 「 -	—人 -) - 1	ı `	—人 —) — 1				
志願者数	— (—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) —	— (—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) —	73 (<u>—</u>) [1]	()				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	69 (—) [1]	()	1.93 倍	— 倍		
合格者数	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]	62 (—) [1]	()				
B 入学者数	— (<u>—)</u> [—]	— (—) [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (—) [—]	58 (—) [1]	()				
入学定員超過率 B/A	-		_	_	_	-	_	-	1.	93				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	令和:	3年度	備	•	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VH		75
	_	_	_	_	_	_	_	_	58				
1 年次	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[1]	[]			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
			_	_	_	_	_	_	_	_			
2 年次	/		[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
					_	_	_	_	_	_			
3 年次	/				[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
					(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
							_	_	_	_			
4 年次	/						[—]	[—]	[—]	[—]			
							(—)	(—)	(—)	(—)			
	_	_	-	_	_	_	_	_	5	8			
計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[.	1]			
	(-	_)	(-	_)	(-	_)	(-	-)	(-	_)			

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	内訳 退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)																													
// 34-12			7, 0,0,0		うち留学生数																														
平成29年度	一 人	一人	平成29年度	人	人																														
平成30年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人																														
干成30年度	– X	_	平成30年度	人	人																														
			平成29年度	人	人																														
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人																														
			令和元年度	人	人																														
			平成29年度	人	人																														
令和2年度	— 人		— 人		_ 1	平成30年度	人	人																											
742千及	– X	– X	令和元年度	人	7																														
			令和2年度	人	人																														
			平成29年度	人	人																														
			平成30年度	人	Д																														
令和3年度	58 人	0 人	0 人	0 人	l -	0 人	0 人	0 人	l -	I ⊢	-	-	<u> </u>	<u> </u>	0 人	0 人	0 Д	0 Д	0 Д	<u> </u>	I ⊢	0 人	0 人	0 人	-		-	-		-	0 人	令和元年度	人	人	
																					令和2年度	人	人												
			令和3年度	一人	一人																														
合 計		0 人		一人	一人																														

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】					
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- = —	_=_	=	9	%
【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- = —		=	9	%
【令和元年度】					
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	= —		=	9	%
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	- = —		=	9	%
【令和3年度】					
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	- = -	0 58	=	0 9	%

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(M)>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
生命	知的財産管理法	1前		2							1
共通科目即科学研究											
目究	インターンシップ	2前		2		8	6				
科	小計 (2科目)		0	4	0	8	6	0	0	0	1
	研究倫理	1前	2			8	6				1
	論文英語 I	1前	1			8	6				
	論文英語Ⅱ	1後	1			8	6				
	論文英語Ⅲ	2前	1			8	6				
基礎	論文英語IV	2後	1			8	6				
科	プレゼンテーション法	1後	2			8	6				
目	分子細胞生物学	1後		2		3	4				
	生命情報工学	1後		2		1					3
	遺伝育種学	1後		2		4	2				
	小計(9科目)	_	8	6	0	8	6	0	0	0	4
	細胞分子機能科学特論 I	1前		2		3	3				
	細胞分子機能科学特論Ⅱ	1後		2		3	3				
特論	植物生命科学特論I	1前		2		3	1				
神科	植物生命科学特論Ⅱ	1後		2		3	1				
目	動物生命科学特論I	1前		2		2	2				
	動物生命科学特論Ⅱ	1後		2		2	1				4
	小計(6科目)	1	0	12	0	8	6	0	0	0	4
	バイオサイエンス特別演習I	1前	2			8	6				
	バイオサイエンス特別演習Ⅱ	1後	2			8	6				
	バイオサイエンス特別演習Ⅲ	2前	2			8	6				
研究	バイオサイエンス特別演習IV	2後	2			8	6				
究科	バイオサイエンス特別実験 I	1前	2			8	6				
目	バイオサイエンス特別実験 Ⅱ	1後	2			8	6				
	バイオサイエンス特別実験Ⅲ	2前	2			8	6				
	バイオサイエンス特別実験IV	2後	2			8	6				
	小計 (8科目)	_	16	0	0	8	6	0	0	0	0
	合計(25科目)	-	24	22	0	8	6	0	0	0	9

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】

必修科目24単位、選択必修科目4単位(特論科目の中から主たる研究領域を2科 目選択)、選択科目2単位以上の合計30単位以上を修得すること。

【令和3年度】

		配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准批	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教 授	舖	教	手	兼 担
生血命		1前		2							1
ᄴᇷ											
通科目究	インターンシップ	2前		2		9	6				
発科											
	小計 (2科目)	-	0	4	0	9	6	0	0	0	1
	研究倫理	1前	2			9	6				1
i	論文英語 I	1前	1			9	6				
i	論文英語Ⅱ	1後	1			9	6				
基	論文英語Ⅲ	2前	1			9	6				
礎	論文英語IV	2後	1			9	6				
科目	プレゼンテーション法	1後	2			9	6				
Ħ	分子細胞生物学	1後		2		3	4				
İ	生命情報工学	1後		2		1					3
i	遺伝育種学	1後	l	2		5	2	<u> </u>			
l	小計 (9科目)	_	8	6	0	9	6	0	0	0	4
	細胞分子機能科学特論 I	1前		2		3	3				
i	細胞分子機能科学特論Ⅱ	1後		2		3	3				
特	植物生命科学特論I	1前		2		3	1				
論科	植物生命科学特論Ⅱ	1後		2		3	1				
İ	動物生命科学特論I	1前		2		3	2				
	動物生命科学特論Ⅱ	1後		2		2	1				4
	小計(6科目)	-	0	12	0	9	6	0	0	0	4
l	バイオサイエンス特別演習 I	1前	2			9	6				
i	バイオサイエンス特別演習Ⅱ	1後	2			9	6				
	バイオサイエンス特別演習Ⅲ	2前	2			9	6				
研	バイオサイエンス特別演習IV	2後	2			9	6				
究科	バイオサイエンス特別実験 I	1前	2			9	6				
目	バイオサイエンス特別実験Ⅱ	1後	2			9	6				
ĺ	バイオサイエンス特別実験Ⅲ	2前	2			9	6				
	バイオサイエンス特別実験IV	2後	2			9	6				
	小計 (8科目)	_	16	0	0	9	6	0	0	0	0
	合計(25科目)	_	24	22	0	9	6	0	0	0	9

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】

が修科目24単位、選択必修科目4単位(特論科目の中から主たる研究領域を2科 目選択)、選択科目2単位以上の合計30単位以上を修得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている</u>箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・令和3年4月1日付にて、「中澤敬信専任教授」が就任したことにより、「インターンシップ」「研究倫理」「論文英語 I」 「論文英語 II」「論文英語Ⅲ」「論文英語Ⅳ」「プレゼンテーション法」「バイオサイエンス特別演習 II」 「バイオサイエンス特別演習 II」「バイオサイエンス特別演習Ⅲ」「バイオサイエンス特別演習Ⅳ」「バイオサイエンス特別実験 II」 「バイオサイエンス特別実験 II」「バイオサイエンス特別実験 II」「バイオサイエンス特別実験 II」 「バイオサイエンス特別実験 II」「バイオサイエンス特別実験 II」「バイオサイエンス特別実験 II」「がイオサイエンス特別実験 II」「がイオサイエンス特別実験 II」の専任教員等の配置を「教授 8、准教授 2」から「教授 9、准教授 2」から「教授 3、准教授 2」変更。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

Ī		設置時	の計画			変更	備考		
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1 用 右
	14 科E	11 科目	0 科目	25 科目	14 科目 [—]	11 科目 [—]	0 科目 [—]	25 科目 [—]	変更なし

(注)・ $\frac{ \pm \Pi \equiv 4 \pm 1 \pm 2 }{1 \pm 1 \pm 1 \pm 1 }$ 表記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	-1					
2	該当なし					
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内						容				備考
(1)		区	分		専	月	1	共	用			用する !校等の				計		東京農業大学第一高等学校(2015年10月10日)
		校台	舎 敷 均	t.		354, 07	′9. 78 m²			$0\mathrm{m}^2$		15	, 350. 7	6 m²		369, 43	30. 54 m	積基準 運動場8,400㎡)、 中等部(収容定員450人、
校		運動	力場用地	ļ		31, 14	17. 98 m²		30, 935.	$81\mathrm{m}^2$		6,	453. 9	9 m²		68, 53	37. 78 m	a 面積基準 運動場4,950㎡) と共用
		小	計	-		385, 22	27. 76 m²		30, 935.	$81\mathrm{m}^2$		21,	, 804. 7	ō m²		437, 96	58. 32 m	借用面積:3, 570. 24㎡
地		そ	の他	1	2,	662, 65	51. 56 m²								2,	662, 65	51. 56 m	□ 借用期間:60年 □ 上越土地返還、ゲストハ
			٠, اد	,	2,	664, 6 0	9 . 34 m ²			$0\mathrm{m}^2$				0 m²	2,	664, 60	9 9. 34 m	ウス売却したため(3)
等		合	計	-	3,	047, 87	′9. 32 m²								3,	100,6	19. 88 m	2
					3,	049, 83	87. 10 m ²		30, 935.	81 m²			, 804. 7	ō m²	3,	049, 83	37. 10 m	
					専	用		共	用			:用する :校等の				計		大学全体建物増築及び改修工事等
(O) ±±			^			216, 56	57. 88 m²			$0\mathrm{m}^2$				0 m²		216, 56	57. 88 m	による用途変更のため(3)
(2) 校			舎			226, 03	8 6. 40 m²			$0\mathrm{m}^2$				0 m²		226, 03	36. 40 m	2
						940. 09		(0 m		($0\mathrm{m}^2$			940. 09		
				S#	(=)	374. 66	,	(1 ==	0 m		(桂却り	0 m²)		()	8 <mark>74. 66</mark> अध्यक्ष	,	大学全体
				講	義室		演習	室	美粉	宝智!	至	1有 牧 久	1理学習			学学習:	他設 0室	建物増築及び改修工事等
(3) 教		室	等		10	1室		83室			706室			8室			1室	
							60室	:		637室	(補且	肋職員	2人)	(補	助職員	(人0		
	新記						f設学部等	等の名称	ı				室		数			研究科全体から専攻全体
(4) 専	車仟教昌研究室							/+4/+1.75	まで (M)				1	8			室	に記載変更(3)
					工叩	1 7 J WI.	Ŧ究科 バイオサイエンス専攻(M)					4	7			王		
(5)	亲	新設学i	部等	r 5	図 書 ち外国書〕		学術な		電子ジ	- بدر	± п.	視聴覚	1資料	機械・	器具	標	本	図書:新規購入による増(3) 学術雑誌:契約変更による減
(3)		の名	称		つか国官」	国書〕 [うち外国 冊		·画音』 種		外国	-		点		点		点	(3) : 視聴覚:新規購入による増(3) - 機械・器具:新規購入による増
				174, 21	7 [42, 257]	18,	, 514 [10		8, 768				7,872	4	2, 119		33, 778	
図	生台	命科学	研究科	(167, 0	95 [41, 409]) (1	18,226 [1	.0, 369])	(8, 388	[8, 17	79])	('	7, 756)	(3,	416)			○標本・基礎となる子科子部単位での特定不能なため、大学全体の数
書					1 73 [40, 750]		1 8, 514 〔1		(8, 768				7, 650)	(2,		(39	3, 778)	○大学全体での共用図書371,689 [33,876]
• 設				` '					(-)	ζ-,	/			. ,		(0,		○学術雑誌,電子ジャーナル,視聴覚
備					7 [42, 257]		,514 [10			68 [8,			7,872		2, 119		33, 778	3
		計		(167, 0)95 [41, 409]) (1	18, 226 [1	.0, 369])	(8, 388	[8, 17	79])	()	7, 756)	(3,	416)			
				(164, 4	1 73 (40, 750)		1 8, 514 〔1	0, 758)	(8, 768	(8, 58	83))	+(7, 650)	-(2, 1	119) —	(33	3, 778)	
(6) 図		書	館		面	-	責		閲覧	座牌	表数		収	納可	」 能		数	大学全体
(0)	8, 026.							mi				1, 383	0			1, 1	162, 000	
面 積 体育館以 (7)体育館 (7)体育館								育館以9	トのスオ	マーツ系	設の概要			4 面	大学全体 既存施設の用途変更のため			
(1) 4	10,371.), 371. 27	m² 野	球	場	2	面	テニ	. ス :	-	- ト	6 五	(0)
	区 分 開設年度					年度	完成年	度 [2	×	分	開設前	有度	開設年	度	完成	大年度		
(8)		経費 の見	教員 1	人当り	研究費等	4	160千円	460=	千円 図	書購え	入費	20	09千円	364	4千円	:	364千円	1
経費の		積り			克 費 等		886千円	3, 886=		備購え		25, 22			5千円		216千円	_
	真り及び <u> </u> 維持方法 労火11米 労1ケ次 労2ケ次 労2ケ						. this thu .	第4年	-		5 年次	- I I I	第6年		1			
の概	要	Ļ	J							_			邦		_			-
	-		寸金		482.6千円		274.6千		— f F			千円		— 千I			- 千円	<u> </u>
		学生	納付金	以外の紀	維持方法の	概要	私立大学	学等経常	費補助金収	又入、	寄付金	収入、	手数料口	又入 等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

 - 校舎等建物の計画の変更(依舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京農	業大	学り	大 学 院		学生募集停止学科数	22	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	8	備考	•
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度			
農学研究科	1											
博士前期課程	2	36	_	62	_	1.06	1. 19	_	_			
農学専攻	2	14	_	28	修士 (農学)	1. 10	1. 28	_	昭和28	神奈川県厚木市船子1737		
動物科学専攻	2	12	_	24	修士 (農学)	1. 08	1.00	_	昭和61	同上		
バイオセラピー専攻	2	10	_	10	修士 (農学)	0. 95	1. 30	_	平成22	同上		
バイオサイエンス専攻	_	_	_	_	修士 (パイオサイエ ンス)	_	_	_	平成14	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	令和3年学生募集	€停止
農芸化学専攻	_	_	_	_	修士 (農芸化学)	_	_	_	昭和32	同上	令和2年学生募集	€停止
醸造学専攻	_	_	_	_	修士 (醸造学)	_	_	_	平成2	同上	令和2年学生募集	€停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	修士 (食品栄養学)	_	_	_	昭和61	同上	令和2年学生募集	長停止
林学専攻	_	_	_	_	修士 (林学)	_	_	_	昭和61	同上	令和3年学生募集	[停止
農業工学専攻	_	_	_	_	修士 (農業工学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集	[停止
造園学専攻	_	_	_	_	修士 (造園学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集	{停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	修士 (国際農業開発 学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集	€停止
農業経済学専攻	_	_	_	_	修士 (農業経済学)	_	_	_	昭和28	同上	令和3年学生募集	{停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	_	_	修士 (国際バイオビ ジネス学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集	€停止
食品安全健康学専攻	_	_	_	_	修士(食品安全健康 学)	_	_	_	平成30	同上	令和2年学生募集	長停止
博士後期課程	3	12	_	36		0. 49	0. 50	_	_			
農学専攻	3	5	_	15	博士	0. 26	0. 40	_	昭和37	神奈川県厚木市船子1737		
動物科学専攻	3	4	_	12	(農学) 博士	0. 50	0. 50	_	平成2	同上		
バイオセラピー学専攻	3	3	_	9	(農学) 博士	0. 66	0. 66	_	平成24	同上		
バイオサイエンス専攻		_	_	_	(農学) 博士 (バイオサイエ	_	_	_		東京都世田谷区桜丘1-1-	令和3年学生募集	€停止
農芸化学専攻	_	_	_	_	ンス) 博士 (農芸化学)	_		_	昭和34	' 同上	令和2年学生募集	€停止
醸造学専攻	_	_	_	_	博士	_		_	平成14	同上	令和2年学生募集	
食品栄養学専攻	_	_	_	_	(醸造学) 博士 (食品栄養学)	_		_	平成14		令和2年学生募集	
林学専攻	_	_	_	_	博士	_		_	平成2		令和3年学生募集	
農業工学専攻	_	_	_	_	(林学) 博士 (農業工学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集	₹停止
造園学専攻	_	_	_	_	博士	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集	€停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	(造園学) 博士(国際農業開発 学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集	
農業経済学専攻	_	_	_	_	ザ/ 博士 (農業経済学)	_	_	_	昭和37	同上	令和3年学生募集	₹停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	_	_	(展来程所子) 博士 (国際バイオビ ジネス学)	_	_	_	平成16		令和3年学生募集	
環境共生学専攻	_	_	_	_	ラベス子) 博士 (環境共生学)	_	_	_	平成2		令和3年学生募集	
					(株のパエナ)							
<u>応用生物科学研究科</u>	1	76		150		Λ 0Ε	0. 88					
博士前期課程 農芸化学専攻	2 2	76 30	_	152 60	修士(典学)	0. 95 1. 01	0. 88 1. 00	_	— 令和2	東京都世田谷区桜丘1-1-1		
醸造学専攻	2	20	_	40	(農学) 修士	1. 05	0. 95	_	令和2	同上		
食品安全健康学専攻	2		_	40	(農学) 修士 (農学)	0. 77	0. 70	_	令和2	同上		
食品栄養学専攻	2		_	12	(農学) 修士	0. 99		_	令和2			
KHI/KET T/A	2	Ū		12	(農学)	0.00	0. 00		אורינו	, ,	l	

	1			1		1		1	ı	T	I
博士後期課程	3	12	_	35	_	0. 33	0. 33	_	_		
農芸化学専攻	3	5	_	15	博士 (農学)	0. 30	0. 20	_	令和2	同上	
醸造学専攻	3	2	_	5	博士	0. 25	0.00	_	令和2	同上	
食品安全健康学専攻	3	3		9	(農学) 博士	0. 33	0. 66			同上	
					(農学) 博士			_	令和2		
<u>食品栄養学専攻</u>	3	2	_	6	(農学)	0. 50	0. 50	_	令和2	同上	
生命科学研究科											
<u>生 即科学研究科</u> 博士前期課程	2	70		140		2. 05	2. 05				
バイオサイエンス専攻	2	30		60	修士	1. 93	1. 93			東京都世田谷区桜丘1-1-	
修士課程		00		00	(農学)	1.00	1.00		13.140	1	
分子生命化学専攻	2	20	_	40	修士 (農学)	2. 10	2. 10	_	令和3	同上	
】 分子微生物学専攻	2	20	_	40	修士	2. 20	2. 20	_	令和3	同上	
27 18 = 18 1 3 2 2	_				(農学)	2.20	2.20		12 140		
博士後期課程	3	5	_	15	— #±±	0. 00	0.00	_	_		
<u>バイオサイエンス専攻</u>	3	5	_	15	博士 (農学)	0.00	0. 00	_	令和3	同上	
ᄴᄺᇛᄹᄭᄴᄪᅲᄭ											
<u>地域環境科学研究科</u> 博士前期課程	2	32		64		1. 18	1. 18				
牌工削别課性 林学専攻	2	32 8		16	修士	1. 10	1. 10	_	— 令和3	東京都世田谷区桜丘1-1-	
					(農学) 修士					!	
<u>農業工学専攻</u>	2	8		16	(農学) 修士	1.00	1.00	_	令和3	同上	
<u>造園学専攻</u>	2	10	_	20	(農学)	1. 40	1. 40	_	令和3	同上	
修士課程				10	修士	1 00	1 00		A 180		
<u>地域創成科学専攻</u>	2	6	_	12	(農学)	1. 33	1. 33	_	令和3	同上	
博士後期課程	3	6	_	18	_	0. 50	0. 50	_	_		
<u>林学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	令和3	同上	
<u>農業工学専攻</u>	3	2	_	6	博士(農学)	1.00	1.00	_	令和3	同上	
	3	2		6	博士	0.00	0.00		令和3	同上	
<u>范围于寻次</u>				J	(農学)	0.00	0.00		סמינו	1-1-1	
国際食料農業科学研究科											
博士前期課程	2	43	_	86	_	0. 72	0. 72	_	_		
国際農業開発学専攻	2	18	_	36	修士 (農学)	0. 55	0. 55	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農業経済学専攻</u>	2	8	_	16	修士 (農学)	0. 62	0. 62	_	令和3	同上	
国際アグリビジネス学専攻	2	10	_	20	修士	0. 60	0. 60	_	令和3	同上	
修士課程	_				(農学)	0.00	0.00		12 140		
国際食農科学専攻	2	7	_	14	修士 (農学)	1. 42	1.42	_	令和3	同上	
					(100 17)						
博士後期課程	3	6	_	18	— 博士	1.33	1. 33			= -	
国際農業開発学専攻	3	2	_	6	(農学) 博士	2. 50	2. 50		令和3		
<u>農業経済学専攻</u>	3	2	_	6	(農学)	0. 50	0. 50	_	令和3	同上	
<u>国際アグリビジネス学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	1.00	1.00	-	令和3	同上	
11 dt 10 11 11											
生物産業学研究科		00		40		1 10	0.05				
博士前期課程	2	20 7	_	40 14	— 修士	1. 12	0. 85 0. 85		ਜ਼ ਦੇ ੭੭	北海道網走市八坂 196	
生物生産学専攻	2		_		(農学) 修士	1. 13					
アクアバイオ学専攻	2	5	_	10	(農学)	1. 10	0. 80	_	平成22	同上	
食品香粧学専攻	2	5	_	10	修士 (農学)	1. 50	1. 20	-	平成22	同上	
産業経営学専攻	2	3	_	6	修士 (農学又は経営 学)	0. 49	0. 33	_	平成22	同上	
L# _L 44 +tn === + tn		_		0.4		0.00	0 05				
博士後期課程	3	8	_	24	 博士 (農学又は経営	0.66	0. 25		— ₩ 7	E L	
生物産業学専攻 	3	8	_	24	学)	0. 66	0. 25	_	平成7	同上	
大学院全体		326	_	690	_	_	_	_	_	_	

大学の名称	東	京農	業大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学部		558		2, 232		1. 03	1. 01	_	_	神奈川県厚木市船子1737	
農学科	4	170	_	680	学士 (農学)	1. 03	1. 00	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△16)
動物科学科	4	140	_	560	学士 (農学)	1. 04	1. 07	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△10)
生物資源開発学科	4	125	_	500	学士 (農学)	1. 04	1.00	_	平成30	同上	
<u>デザイン農学科</u>	4	123	_	492	学士 (農学)	1. 01	0. 98	_	平成30	同上	
応用生物科学部		570		2, 280		1. 04	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農芸化学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1.00	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>醸造科学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 05	1. 08	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>食品安全健康学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成26	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>栄養科学科</u>	4	120	_	480	学士 (農学)	1. 04	1. 02	_	平成10	同上	H31編入定員変更 (△4)
生命科学部		410		1, 640		1. 04	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
<u>バイオサイエンス学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成29	同上	
<u>分子生命化学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1.03	平成30	平成29	同上	
<u>分子微生物学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 06	1. 04	平成30	平成29	同上	
地域環境科学部		490		1, 960		1. 03	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
森林総合科学科	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1.03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△6)
<u>生産環境工学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△3)
<u>造園科学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 05	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>地域創成科学科</u>	4	100	_	400	学士 (農学)	1. 05	1. 07	平成30	平成29	同上	
国際食料情報学部		600		2, 400		1. 03	1. 03			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
国際農業開発学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>食料環境経済学科</u>	4	190	_	760	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△5)
<u>国際食農科学科</u>	4	110	_	440	学士 (農学)	1. 04	1. 06	平成30	平成29	同上	
生物産業学部		363		1, 452		1. 02	0. 95			北海道網走市八坂 196	
北方圏農学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 02	0. 92	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (△10) R02編入定員変更 (△10)
海洋水産学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 06	1. 05	_	平成18	同上	R02入学定員変更 (11)
食香粧化学科	4	91	_	364	学士 (農学)	0. 97	0. 91	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (11) R02編入定員変更 (△12)
自然資源経営学科	4	90	_	360	学士 (経営学)	1. 03	0. 92	_	平成1	同上	R02編入定員変更 (△5)
大学全体	4	2, 991	_	11, 964	_	_	_	_	_	_	

大学の名称	東	京情	報大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度				
総合情報学部 総合情報学科	4	400	人 3年次 10	1, 620	学士(総合情報 学)	1. 16	1. 12	_	平成25	千葉県千葉市若す 4-1	医御成台		
看護学部													
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	0. 87	1.00	_	平成29	同上			
大学全体	4	500	3年次 10	2, 020	_	_	_	_	_		_		
大学の名称	東	京情	報大	学った	学 院		学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍						
			人										
総合情報学研究科 博士前期課程													
総合情報学専攻	2	15		30	修士 (総合情報学)	0. 53	0. 66	_	平成4	千葉県千葉市若芽 4-1	区御成台		
博士後期課程 総合情報学専攻	3	3	_	9	博士(総合情報学)	0. 11	0.00	_	平成11	同上			
大学院全体	_	18	_	39	_	_	_	_	_		_		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	2
名	名	名

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学院】

	Ē	设置 時	の計画	画				3	見在(報	告時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准耈	教授	講師	i 助教	計 (B)	助手 (B')
8	6	0	0	14	0	9	6	6	0	0	15	0
(9)	(6)	(0)	(0)	(15)	(0)							
研究指導教 数	損 研究指 教員		義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	女員 研	研究指 ^達 教員		購義のみ担当 の教員数		
8 (9)	(6		0 (0)			9		6		0		
(9)				0.415.77			70	9+ /		0 D + F F F	O TITE	
	現任(和古時)の	完成年度時	が状況			巧	見仕 (敢告時)	の完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教	教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	6	0	0	15	0	9	6	6	0	0	15	0
[1]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-	-]	[-]	[-]	[1]	[-]
研究指導教 数	員 研究指 教員	導補助 講	義のみ担当 の教員数		$\overline{}$	研究指導教 数	女員 研	研究指述 教員	尊補助 i 数	講義のみ担当 の教員数		$\overline{}$
9	(6	0			9		6		0		
[1]	[-	-]	[-]			[1]	1	[-	.]	[-]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)		完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 70	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 107.14

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) = 15

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退 (未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担当予定科目 後任補充状況				況	京	尤任辞 退	人	就任)の理	由	
				該当なし													
				合計	(D)						後	经任補充状况	の集計	(E)			
	京	尤任 ?	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の合詞	计数(a)	②の合計	十数 (b))	③の合語	计数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	佃	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					ī	†	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	1091	担当予定科目	後任	補充状	況		舒	任等	の理由			
				該当なし														
F																		7
				合計	(F)						後	後任補充状況	の集計	(G))			
		辞	任l	した教員数	担当科目	目数の合言	† (a) -	+ (b) + (c)	①の合語	†数(a)	②の合計	十数(b))	③の合計	散	(c)	
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	C) 科	目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	C) 科	目
			0	人	É	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	C) 科	目
					į	it	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	C) 科	H

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				後任神	前充状況の集	計(E)+	(G)	
辞任等した教	員数	担当科目数の合語	├ (a) +	(b) + (c)	①の合計	】数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計	†数(c)
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = 0 14

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由		
				該当なし												
				í	計			後任補充状況の集計								
		辞	任l	した教員数	担当科目数の合語	† (a) + ((b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))			
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0 人		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし	

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
届出時(令和2年)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(M)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	授業等については、原則、対面で実施しているが、オンラインでの実施やオンデマンド配信(2開講分)を認め、柔軟な対応を行い、必要な学修時間を確保する。今後、大幅な変更を行うような状況になった場合は、学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会並びに大学院教学検討委員会があり、大学教員としての ~ 資質の維持向上を図っている。

ストルーー また、専攻主任会議において大学院としての取り組みを行っている。 ※関係規程等「東京農業大学全学審議会規程(資料1)」「東京農業大学大学院学則(資料2)」 「東京農業大学大学院専攻主任会議規程(資料3)」「全学審議会設置委員会(一部抜粋)(資料4)」 「東京農業大学教学検討委員会内規(資料5)」

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

大学院教学検討委員会は、令和2年度は4回(7/28、9/28、11/30、3/16)開催され、委員は研究科委員長、 専攻主任から選出された者、教務支援部長の役職者を充てている。また、副学長(教学担当)がオブザーバー として参加する。

専攻主任会議は毎月開催され、構成員は研究科委員長、各専攻主任教授となっている。

- c 委員会の審議事項等
 - 大学院教学検討委員会活動計画に関する事項

 - ・ 大学院FD活動に関する事項(大学院満足度・授業評価アンケート項目の改善と実施、及び改善計画書の策定) ・ ファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項(一貫教育WG、GPAに関するWG、学生 研究支援WG、ナンバリングWG)
 - ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項
 - ・ 論文審査に関する事項
 - その他

② 実施状況

- 実施内容
- ① 新任教員のための研修会
- ② 大学院満足度・授業評価アンケート実施と専攻へのフィードバック及び改善計画書の策定
- ③ 障がいのある学生の支援会議
- ④ 世田谷プラットフォーム主催 F D シンポジウム (国士舘大学、駒澤大学、成城大学、昭和女子大学、 東京都市大学、東京農業大学)の企画
- 実施方法
- ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、建学の精神、教員の心得、ハラス メント防止、研究活動の適正な実施等について説明を行った。更に、学部学科、専攻単位で独自の研修や フォローアップを行っている。
- ② 大学院生を対象として前・後学期に各1回「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、実施結果を フィードバックし、各専攻に改善計画の策定を依頼した。 ③ 教職員を対象とし、障がいのある学生の主学支援会議を開催した。 ④ コロナ禍の新たな試みとして、Zoomでのオンライン開催とした。

- 開催状況(教員の参加状況含む)

 - ① 令和2年度は、全体研修を4月15日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。 ② 令和2年度は前期は8月に、後期は1月に「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、令和3年 1月に令和元年度後期と令和2年度前期のアンケート結果に基づいた改善計画の策定を依頼した。 - トの結果は担当所管窓口において公開(閲覧)している。 した。また、
 - ③ 令和2年度は、11/27に障がいのある学生の就学支援会議をZoomにより実施し、50名弱が参加した。
 - ④ 6大学それぞれから「オンライン授業の質保証」として、ご講演いただいた。
- 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長で ある研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化
- させることができた。 「大学院満足度・授業評価アンケート」に基づき、より具体的な改善計画を策定することで、 授業にとどまらず日常の研究指導等についても現状の理解を深め、対応することができている。
- ③ 障がいのある学生の支援方法について、そのプロセスから具体的な方法を再共有することができた。
- ハラスメント講習会では、ハラスメントの防止を主に発生した場合の対応についも理解を深めた。 ④ コロナ禍における各大学のオンライン授業の実施方法を共有することで、教員の意識も高まり、 質の向上につなげることができた。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。(学生ポータルサイト利用によるアンケート)

- b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・ 集計結果を専攻主任・主事に回覧し、専攻内教員での共有を依頼し、専攻としての改善計画を策定して いる。
 - ・ 学生に対しては、担当所管窓口において公開(閲覧)している。
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項
- ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻博士前期課程は、生命科学を基盤に最先端知識・技術を駆使して、より専門的な教育研究を推進し、研究内容を自在に発信・討論できる能力を持って、人類の生活向上を導くため国内外の研究・産業の発展に貢献できる人材を養成する。

開設1年目にあたる令和3年度は、新入生58名を迎え入れ、58名の学生に対して専攻の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和3年7月31日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成31年度(令和元年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し適合認定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告		
а	公表予定の有無	[有	
≪ a b c	で「有」の場合≫ 公表(予定)時期 公表方法	[調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降 ・ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()
≪ a d	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	·)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 私立104

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 研究科の設置

注1



東京農業大学大学院 生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(博士後期課程) 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画広報室

戦名・氏名 ま任 清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

(夜間) 同上

e -mail <u>kaikaku@nodai.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命科学研究科

<1	バイオサイエンス専攻 (D)>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 6
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 21

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人東京農業大学

- (2) 大 学 名 東京農業大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学長	(エグチ フミオ) 江口 文陽 (令和3年4月)		
研究科委員長	(サカタ ヨウイチ) 坂田 洋一 (令和3年4月)		
専攻主任	(アサイ ケイ) 朝井 計 (令和3年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
 - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時		学生募集の停	備考	٦	
名称 (学位)	の分野	修業年限	修業年限 入学定員 編入学定員 収容定員		止について	11用 15		
生命科学研究科 バイオサイエンス専攻 博士 (農学)	農学関係	3	人 5	年次 人 一		新規入学者を 募集中		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度		平成30年度		令和元	令和元年度		令和2年度		3 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
A 入学定員	—人 (- 「 -	—人 —) — 1	—人 (- 「 -	—人 -) - 1	一人 (- 「 -	—人 -) - 1	人 (- 「 -	—人 -) - 1	5人 (- 「 -	—人 —) — 1				
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	(<u>-</u>)	— (—) [—]	(—) [—]	(<u>)</u>	— (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]	0.00 倍	— 倍		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]	— (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]	0 (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	0 (<u>—</u>) [<u>—</u>]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	_	_	_	_	_	_	_	_	0.	00				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和 2	2年度	令和 (3年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VH	75
		_	_	_	_	_	_	_	_	0	_		
	1 年次	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
				_	_	_	_	_	_	_	_		
	2 年次			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
				(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
						_	_	_	_	_	_		
	3 年次					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
						(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
								_	_	_	_		
	4 年次							[—]	[—]	[—]	[—]		
								(—)	(—)	(—)	(—)		
		_	-	_	_	_	_	-	_	0			
	計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]		
		(-	_)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	_)		

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳								
	在学者数(b)	退学者数(a)	3 世 1 4 左		者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)						
対象年度			入学した年度		うち留学生数							
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人							
平成30年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人							
十成30年度	– X	– X	平成30年度	人	人							
			平成29年度	人	人							
令和元年度	— 人	— 人	一 人	平成30年度	人	人						
			令和元年度	人	人							
	- 人		平成29年度	人	人							
今和0 年度		– Д	- 人	— 人	- 人	— 人	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
令和2年度									– X	令和元年度	人	人
			令和2年度	人	Д							
			平成29年度	人	Д							
			平成30年度	人	人							
令和3年度	0 人	0 人	令和元年度	人	人							
			令和2年度	人	人							
			令和3年度	一 人	一人							
合 計		0 人		— 人	一人							

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	= -		=	%
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	= —		=	%
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	= —		=	%
【令和2年度】				
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	= -		=	— %
【令和3年度】				
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	= -	0	=	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(D)>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
生命科	知的財産管理法・研究倫理特論	1前		1		1					3
通科目研究科	インターンシップ	2前		2		8	6				
1-1	小計 (2科目)	-	0	3	0	8	6	0	0	0	3
基礎科	英語論文作成法	1後	2			8	6				
目	小計 (1科目)	_	2	0	0	8	6	0	0	0	0
特	細胞分子機能科学後期特論	1前		2		3	3				
論	動物生命後期特論	1前		2		2	2				
科目	植物生命後期特論	1前		2		3	1				
П	小計 (3科目)	1	0	6	0	8	6	0	0	0	0
研究	特別研究指導I	1通	4			8	6				
究指	特別研究指導Ⅱ	2通	4			8	6				
導科	特別研究指導Ⅲ	3通	4			8	6				
目	小計 (3科目)	-	12	0	0	8	6	0	0	0	0
	合計(9科目)	-	14	9	0	8	6	0	0	0	3

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

3年以上在学し、所定の授業科目について16単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格するこ

【履修方法】

必修科目14単位、選択必修科目2単位(特論科目の中から主たる研究領域を選択)の合計16単位以上を修得すること。

【令和3年度】

£1.5		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
生命科学	知的財産管理法・研究倫理特論	1前		1		1					3
共通科目 科学研究科	インターンシップ	2前		2		9	6				
17	小計 (2科目)	1	0	3	0	9	6	0	0	0	3
基礎科	英語論文作成法	1後	2			9	6				
目	小計 (1科目)	1	2	0	0	9	6	0	0	0	0
特	細胞分子機能科学後期特論	1前		2		3	3				
論	動物生命後期特論	1前		2		3	2				
科目	植物生命後期特論	1前		2		3	1				
П	小計 (3科目)	1	0	6	0	9	6	0	0	0	0
研	特別研究指導I	1通	4			9	6				
究 指	特別研究指導Ⅱ	2通	4			9	6				
導科	特別研究指導Ⅲ	3通	4			9	6				
目	小計 (3科目)	-	12	0	0	9	6	0	0	0	0
	合計(9科目)	-	14	9	0	9	6	0	0	0	3

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

3年以上在学し、所定の授業科目について16単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】

必修科目14単位、選択必修科目2単位(特論科目の中から主たる研究領域を選択)の合計16単位以上を修得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。</u> 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・ 令和3年4月1日付にて、「中澤敬信専任教授」が就任したことにより、「インターンシップ」「英語論文作成法」 「特別研究指導 I 」「特別研究指導 II」「特別研究指導 II」の専任教員等の配置を「教授8、准教授6」から「教授9、准教授6」に、「動物生命後期特論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授2」に変更。

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

			設置時	の計画							変更	状況				備考
必化	多	選	択	自	由	計 (A)	必作	多	選担	R	自日	∄	計		湘石
4	科目	5	科目	0	科目	9	科目	4 [—	科目	5 [—	科目	0	科目	9	科目	変更なし

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	9	_	0 90

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分	`				内					容			備考
(1)		区	分)	専	Я	Ħ	共		用		t用する他の 学校等の専用		ī	i l	東京農業大学第一高等学校(収容定員1,050人、面
		校舎	: 敷:	地		354, 07	79. 78 m²			$0\mathrm{m}^2$		15, 350. 7	6 m²	30	69, 430. 54 m ²	積基準 運動場8,400㎡)、 中等部(収容定員450人、
校		運動	場用地	也		31, 14	17. 98 m²		30, 9	935. 81 m²		6, 453. 9	9 m²	(68, 537. 78 m²	面積基準 運動場4,950㎡) と共用
		小	Ē	†		385, 22	27. 76 m²		30, 9	935. 81 m²		21, 804. 7	5 m²	43	37, 968. 32 m²	借用面積:3, 570. 24㎡
地		そ	の ft	也			51. 56 m²								62, 651. 56 m ²	借用期間:60年 上越土地返還、ゲストハ
							9. 34 m² 79. 32 m²			0 m²			0 m²		64, 609. 34 m ²	ウス売却したため (3)
等		合	青	†	- /	,	9. 32 m 37. 10 m		30.0	935. 81 m²		21, 804. 7	5 m²		00, 619. 88 m² 49, 837, 10 m²	
					専		71. TOM	‡		1 1	共	と用する他の に用する他の	OIII		H	大学全体
					导	,,,		<i>+</i>	÷ /		学	ど校等の専用				建物増築及び改修工事等 による用途変更のため(3)
(2) 校			舎				52. 04 m ²			0 m²			0 m²		20, 052. 04 m ²	
12/12					(225	226, 03 940. 09	36. 40 m²	(0 m ²	($0 \mathrm{m}^2$	0 m²		2 6, 036. 40 m 40. 09 m²)	
						940. 09 874. 66		(0 m²)	(0 m ²)			74. 66 m²)	
					事義 室	011.00	演習	室室		実験実習	室	情報処理学習		,		大学全体 建物増築及び改修工事等
(3) 教	,	室	等										8室		0室	による用途変更のため(3)
(3) 30		±	4		10	1室		83国 60国			706室 637室				1室	
								00 <u>1</u>			007 <u>s</u>	(補助職員	2人)	(補助	職員 0人)	
(4) 事	T #h	員研究	=					等の名称				室		数		研究科全体から専攻全体 に記載変更(3)
(4) 0	·IT \$X	.只则九	±					科 バイオサイエンス専攻(D)					8 7	室		
					図書		学術雑誌					ldt l b B			図書:新規購入による増(3) 学術雑誌:契約変更による減	
(5)	親	f設学部 の名和		(-	うち外国書〕		〔うちタ	 国書]	電	子ジャー	ナル	視聴覚資料	機械・岩	具	標本	視聴覚:新規購入による増(3) 機械・器具:新規購入による増
		V) 11 11	'n			m		種	1 €	うち外国	書〕	点		点	点	(3) ○標本:基礎となる学科学部単位 での特定不能なため、大学全体
w .				174, 2	17 [42, 257]	18,	, 514 [1	0, 758]	8,	768 [8, 5	83]	7, 872	2	, 119	33, 778	の数 ○大学全体での共用図書371,689
図書	生命	6科学研	开究科	(167,	095 [41, 409]) (1	18, 226 〔	10, 369))	(8,	388 [8, 1	79])	(7, 756)	(3, 4	16)		[33,876]○学術雑誌,電子ジャーナル,視聴覚 資料は、大学全体の数
• 設				-(164,	473 [40, 750]		18, 514 (10, 758)	_(8,	768 〔8, 5	83]_)_	(7, 650)	(2, 1	19)	(33, 778)	貝付は、八子王仲の奴
備				174, 2	17 [42, 257]	18,	,514 [1	0, 758]		8,768 [8	, 583]	7, 872	2	, 119	33, 778	
		計		(167,	095 [41, 409]			10, 369))		388 [8, 1		(7,756)	(3, 4	16)		
				-(164,	473 [40, 750]	, ,	, (10, 758)		768 [8, 5		(7, 650)	(2, 1	/	(33, 778)	1 32 4 41
(6) 図		書	館				<u>責</u> 3,026.19	9 m²	閲	覧 座 月	常 数	1,383	納可	能	冊 数 1,162,000	大学全体
					面			- 111		体*	育館以名		施設の概要	[1, 102, 000	大学全体
(7) 体		育	館		面 積 10,371.		0, 371. 27	7 m² 野	球	場	2	面テニ			4 面 ト 6 亜	既存施設の用途変更のため (3)
			[<u>x</u>	分 開設年度			完成年	度	区	分	開設前年度	開設年		完成年度	
(8)		経費 の見	教員 1	1人当	J 研究費等	4	160千円	460	千円	図書購.	入費	209千円	364	千円	364千円	
経費の 積り及)見	4主 ()	共 同	· ·		886千円	3, 886	千円	設備購.	入費	25,225千円	3, 216	千円	3,216千円		
維持方の概		学生 1		人当 第1年次 第2			2年次	爭	第3年次 第4年次 第5年次 第6年次		第6年次					
の概	女	り 納付		1			374.6∓	-円 1	, 424. 6	6千円	_	千円	— 千円	3	一 千円	
		学生?	納付金			と以外の維持方法の概要 私立大学等経常費補助金収入、寄付金収			■							

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」

 - を併せて提出してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京農	業大	学り	学 院		学生募集停止学科数	22	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	8	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学研究科											
博士前期課程	2	36	_	62	_	1.06	1. 19	_	_		
農学専攻	2	14	_	28	修士 (農学)	1. 10	1. 28	_	昭和28	神奈川県厚木市船子1737	
動物科学専攻	2	12	_	24	修士 (農学)	1. 08	1. 00	_	昭和61	同上	
バイオセラピー専攻	2	10	_	10	修士 (農学)	0. 95	1. 30	_	平成22	同上	
バイオサイエンス専攻	_	_	_	_	修士(バイオサイ エンス)	_	_	_	平成14	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	_	_	-	_	修士 (農芸化学)	_	_	_	昭和32	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	_	_	-	_	修士 (醸造学)	_	_	_	平成2	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	修士 (食品栄養学)	_	_	_	昭和61	同上	令和2年学生募集停止
林学専攻	_	_	_	_	修士 (林学)	_	_	_	昭和61	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	_	_	_	_	修士 (農業工学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	_	_	_	_	修士 (造園学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	修士 (国際農業開 発学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻	_	_	-	_	修士 (農業経済学)	_	_	_	昭和28	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	-	_	修士 (国際バイオ ビジネス学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
食品安全健康学専攻	_	_	-	_	修士(食品安全健 康学)	_	_	_	平成30	同上	令和2年学生募集停止
博士後期課程	3	12		36		0. 49	0. 50	_	_		
農学専攻	3	5		15	博士	0. 26	0. 40	_	昭和37	神奈川県厚木市船子1737	
動物科学専攻	3	4	_	12	(農学) 博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	平成2	同上	
バイオセラピー学専攻	3	3	_	9	(展子) 博士 (農学)	0. 66	0. 66	_	平成24	同上	
バイオサイエンス専攻	_	_	_	_	(辰子) 博士 (バイオサイ エンス)	_	_	_	平成16	東京都世田谷区桜丘1-1-	令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	_	_		_	博士 (農芸化学)	_	_	_	昭和34	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	_	_		_	博士 (醸造学)	_	_	_	平成14	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	博士 (食品栄養学)			_	平成14	同上	令和2年学生募集停止
林学専攻	_	_	_	_	博士(林学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	_	_	_	_	博士 (農業工学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	_	_	_	_	博士 (造園学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	博士 (国際農業開 発学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻	_	_	_	_	博士 (農業経済学)	_	_	_	昭和37	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	_	_	博士 (国際バイオ ビジネス学)	_	_	_	平成16	同上	令和3年学生募集停止
環境共生学専攻	_	_	_	_	博士 (環境共生学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
ch == 4 # 54 # 77 # 54											
<u>応用生物科学研究科</u> 博士前期課程	2	76		152	_	0. 95	0. 88	_	_		
農芸化学専攻	2	30	_	60	修士 (農学)	1. 01	1. 00		令和2	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>醸造学専攻</u>	2	20	_	40	修士(農学)	1. 05	0. 95	_	令和2	同上	
<u>食品安全健康学専攻</u>	2	20	_	40	修士(農学)	0. 77	0. 70	_	令和2	同上	
<u>食品栄養学専攻</u>	2	6	_	12	修士 (農学)	0. 99	0. 66	_	令和2	同上	

		1						1			
博士後期課程	3	12	_	35	_	0. 33	0. 33	_	_		
<u>農芸化学専攻</u>	3	5	_	15	博士 (農学)	0. 30	0. 20	_	令和2	同上	
	3	2		5	博士	0. 25	0. 00		حداث	⊟ L	
<u>醸造学専攻</u>					(農学)	0. 23	0.00	_	令和2	同上	
<u>食品安全健康学専攻</u>	3	3	_	9	博士 (農学)	0. 33	0. 66	_	令和2	同上	
<u>食品栄養学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	0. 50	0.50	_	令和2	同上	
					(成于)						
<u>生命科学研究科</u>											
博士前期課程	2	70	_	140	_	2. 05	2. 05	_	_		
<u>バイオサイエンス専攻</u>	2	30	_	60	修士 (農学)	1. 93	1. 93	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
修士課程											
<u>分子生命化学専攻</u>	2	20	_	40	修士 (農学)	2. 10	2. 10	_	令和3	同上	
┃ 分子微生物学専攻	2	20	_	40	修士	2. 20	2. 20	_	令和3	同上	
22 2 W = 12 2 2 2 3					(農学)				1. 14.		
博士後期課程	3	5	-	15	—	0.00	0.00	_	_		
<u>バイオサイエンス専攻</u>	3	5	-	15	博士 (農学)	0.00	0.00	_	令和3	同上	
<u>地域環境科学研究科</u>											
博士前期課程	2	32	-	64	版士 —	1. 18	1. 18	_	_	東京都州内の中地でも	
<u>林学専攻</u>	2	8	-	16	修士 (農学)	1.00	1. 00	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農業工学専攻</u>	2	8	_	16	修士 (農学)	1.00	1.00	_	令和3	同上	
造園学専攻	2	10	_	20	修士	1. 40	1. 40		令和3	同上	
修士課程					(農学)				1. 14.		
地域創成科学専攻	2	6	_	12	修士	1. 33	1. 33	_	令和3	同上	
					(農学)						
博士後期課程	3	6	_	18	<u></u>	0. 50	0. 50	_	_		
<u>林学専攻</u>	3	2	-	6	博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	令和3	同上	
<u>農業工学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	1.00	1.00	_	令和3	同上	
<u>造園学専攻</u>	3	2		6	博士	0.00	0.00	_	令和3	同上	
<u> </u>		_		ŭ	(農学)	0.00	0.00		13.110		
国際食料農業科学研究科											
博士前期課程	2	43	_	86	_	0. 72	0. 72	_	_		
国際農業開発学専攻	2	18	_	36	修士 (農学)	0. 55	0. 55	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
┃ 農業経済学専攻	2	8		16	修士	0. 62	0. 62		令和3	同上	
<u> </u>		o		10	(農学) 修士			_	ተነ የሀን	旧工	
国際アグリビジネス学専攻	2	10	_	20	(農学)	0. 60	0. 60	_	令和3	同上	
修士課程		_			修士						
<u>国際食農科学専攻</u>	2	7	_	14	(農学)	1. 42	1. 42	_	令和3	同上	
博士後期課程	3	6	_	18	_	1. 33	1. 33	_	_		
国際農業開発学専攻	3	2	_	6	博士 (農学)	2. 50	2. 50	_	令和3	同上	
農業経済学専攻	3	2		6	博士	0. 50	0. 50		令和3	同上	
					(農学) 博士						
<u>国際アグリビジネス学専攻</u>	3	2	-	6	(農学)	1.00	1. 00	_	令和3	同上	
化加去类类型 加力到											
生物産業学研究科		00		40		1 10	0.05				
博士前期課程	2	20		40	— 修士	1. 12	0. 85	_		北海道網走市八坂	
生物生産学専攻	2	7	-	14	(農学)	1. 13	0. 85	_	平成22	北海道網走市八坂 196	
アクアバイオ学専攻	2	5	-	10	修士 (農学)	1. 10	0. 80	_	平成22	同上	
食品香粧学専攻	2	5	_	10	修士 (農学)	1. 50	1. 20	_	平成22	同上	
産業経営学専攻 産業経営学専攻	2	3	_	6	修士(農学又は経	0. 49	0. 33	_	平成22	同上	
7.1.47	-	Ĭ		J	営学)	3. 10	3. 33		1,222		
博士後期課程	3	8	_	24	_	0. 66	0. 25	_	_		
生物産業学専攻	3	8	-	24	博士 (農学又は経 営学)	0. 66	0. 25	_	平成7	同上	
大学院全体		326		690							
八子 兀王 平		320		090							
											•

大学の名称	東	京農	業大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学部		558		2, 232		1. 03	1. 01		_	神奈川県厚木市船子1737	
農学科	4	170	_	680	学士 (農学)	1. 03	1. 00	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△16)
動物科学科	4	140	_	560	学士 (農学)	1. 04	1. 07	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>生物資源開発学科</u>	4	125	_	500	学士 (農学)	1. 04	1. 00	_	平成30	同上	
<u>デザイン農学科</u>	4	123	_	492	学士 (農学)	1. 01	0. 98	_	平成30	同上	
応用生物科学部		570		2, 280		1. 04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
農芸化学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 00	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>醸造科学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 05	1. 08	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>食品安全健康学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成26	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>栄養科学科</u>	4	120	_	480	学士 (農学)	1.04	1. 02		平成10	同上	H31編入定員変更 (△4)
生命科学部		410		1, 640		1.04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>バイオサイエンス学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成29	同上	
<u>分子生命化学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成29	同上	
<u>分子微生物学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1.06	1. 04	平成30	平成29	同上	
地域環境科学部		490		1, 960		1. 03	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
森林総合科学科	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△6)
<u>生産環境工学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△3)
<u>造園科学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 05	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>地域創成科学科</u>	4	100	_	400	学士 (農学)	1. 05	1. 07	平成30	平成29	同上	
国際食料情報学部		600		2, 400		1. 03	1. 03			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>国際農業開発学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>食料環境経済学科</u>	4	190	_	760	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△5)
<u>国際食農科学科</u>	4	110	_	440	学士 (農学)	1.04	1. 06	平成30	平成29	同上	
生物産業学部		363		1, 452		1. 02	0. 95			北海道網走市八坂 196	
北方圏農学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 02	0. 92	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (△10) R02編入定員変更 (△10)
海洋水産学科	4	91	-	364	学士 (農学)	1.06	1. 05	_	平成18	同上	RO2入学定員変更(11)
食香粧化学科	4	91	_	364	学士 (農学)	0. 97	0. 91	_	平成1	同上	R02入学定員変更(11) R02編入定員変更(△12)
自然資源経営学科	4	90	_	360	学士 (経営学)	1.03	0. 92	_	平成1	同上	R02編入定員変更 (△5)
大学全体	4	2, 991	_	11, 964	_	_	_	_	_	_	

大学の名称	東	京情	報大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度					
総合情報学部 総合情報学科	4	400	人 3年次 10	1, 620	学士(総合情 報学)	1. 16	1. 12	_	平成25	千葉県千 4-1	葉市若葉	区御成台		
看護学部 看護学科	4	100	_	400	学士(看護 学)	0. 87	1.00	_	平成29		同上			
大学全体	4	500	3年次 10	2, 020	_	_	_	_	_			_		
大学の名称	東	京情	報大	学 ブ	学 院		学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍							
総合情報学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻	2	15	_	30	修士(総合情報学)	0. 53	0. 66	_	平成4	千葉県千	葉市若葉	区御成台		
博士後期課程 総合情報学専攻	3	3		9	字) 博士(総合情報 学)	0. 11	0. 00	_	平成11	4-1	同上			
大学院全体	_	18	_	39	_	_	_	_	_			_		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

() () () () () () () () () ()				
完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数		
4	3	4		
名	名	名		

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学院】

	Ē	设置 時	の計画	ii ii				3	現在(報	告時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教	教授	講師	i 助教	計 (B)	助手 (B')
8	6	0	0	14	0	9	(6	0	0	15	0
(9)	(6)	(0)	(0)	(15)	(0)							
研究指導教 数	損 研究指 教員		義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	女員 研	研究指 ^達 教員		講義のみ担当 の教員数		
8 (9)	(0			9		6	i	0		
(9)	(9) (6) (0) 現在 (報告時) の完成年度時の状況			現在(報告時)の完成年度時の計画								
	現任(報告時)の	元队年度時	の状況			均	児仕 (和 合 時)	の元队年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准务	教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	6	0	0	15	0	9	(6	0	0	15	0
[1]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-	-]	[-]	[-]	[1]	[-]
研究指導教 数	員 研究指 教員	導補助 講	義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	女員 石	研究指 ^達 教員	導補助 数	講義のみ担当 の教員数		
9	(6	0			9		6	i	0		
[1]	[-	-]	[-]			[1]	1	[-	-]	[-]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成						
定年規定の定める定 年年齢(歳)		完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数				
65 70	0	0				
歳	名	名				

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 107.14

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) = 15

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	9 担	当予定科目]	後任	壬補	充状:	況	1	就任	辞退	【人未	就任)の	理由			
				該当なし																		
				合計	(D)	ļ							後	任補充状況	元の類	集計	(E)					
	京	えだ る	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	(①の合計数 (a)				②の合	計数	(b))	③のf	計数 (c)			
					必	修	0	科目	Į.	必修		0	科目	必修	-	0	科目	必修		0	科目	
			_		選	択	0	科目	ì	選択		0	科目	選択		0	科目	選択		0	科目	
			0	人	自	由	0	科目	-	自由		0	科目	自由		0	科目	自由		0	科目	
					Ī	 †	0	科目		計		0	科目	計		0	科目	計		0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・白	曲の別	担当予定科目	後	任補	充状》	兄		刮	任等	の理由			
				該当な	L															
					合計	(F)							後	经任補充状况	の集計	(G)				
		辞	任l	した教員数		担当科目	数の合計	† (a) +	+ (b) + (c)	①の合	①の合計数 (a)				十数 (b))	③の合計数 (c)			
						必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	(0	科目
			_			選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	(0	科目
			0		人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	(0	科目
						ī	+	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	(0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)					後任補	前充状況の集	E計(E) +	(G)			
辞任等した教	人員数	担当科目数の合語	it (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a	1)	②の合語	計数(b	1)	③の合	計数	t (c))
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計		0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞日	E等の	理由			
			該当なし													
			f	合計			後任補充状況の集計									
	辞	任し	ンた教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	】数(a)		②の合計	十数(b)		③の合計	数	(c)	
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	(0	科目
		_		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	(0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	(0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	(0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) · 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
届出時(令和2年)	該当なし	***************************************	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学研究科 バイオサイエンス専攻(D)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	授業等については、原則、対面で実施しているが、オンラインでの実施やオンデマンド配信(2開講分)を認め、柔軟な対応を行い、必要な学修時間を確保する。今後、大幅な変更を行うような状況になった場合は、学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会並びに大学院教学検討委員会があり、大学教員としての 資質の維持向上を図っている。

また、専攻主任会議において大学院としての取り組みを行っている。

※関係規程等「東京農業大学全学審議会規程(資料1)」「東京農業大学大学院学則(資料2)」 「東京農業大学大学院専攻主任会議規程(資料3)」「全学審議会設置委員会(一部抜粋)(資料4)」 「東京農業大学教学検討委員会内規(資料5)」

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

大学院教学検討委員会は、令和2年度は4回(7/28、9/28、11/30、3/16)開催され、委員は研究科委員長、専攻主任から選出された者、教務支援部長の役職者を充てている。また、副学長(教学担当)がオブザーバーとして参加する。

専攻主任会議は毎月開催され、構成員は研究科委員長、各専攻主任教授となっている。

- c 委員会の審議事項等
 - 大学院教学検討委員会活動計画に関する事項
 - ・大学院FD活動に関する事項(大学院満足度・授業評価アンケート項目の改善と実施、及び改善計画書の策定)
 - ・ファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項(一貫教育WG、GPAに関するWG、学生研究支援WG、ナンバリングWG)
 - ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項
 - ・ 論文審査に関する事項
 - その他

② 実施状況

- a 実施内容
- ① 新任教員のための研修会
- ② 大学院満足度・授業評価アンケート実施と専攻へのフィードバック及び改善計画書の策定
- ③ 障がいのある学生の支援会議
- ④ 世田谷プラットフォーム主催 F D シンポジウム(国士舘大学、駒澤大学、成城大学、昭和女子大学、 東京都市大学、東京農業大学)の企画
- b 実施方法
- ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、建学の精神、教員の心得、ハラスメント防止、研究活動の適正な実施等について説明を行った。更に、学部学科、専攻単位で独自の研修やフォローアップを行っている。
- ② 大学院生を対象として前・後学期に各1回「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、実施結果をフィードバックし、各専攻に改善計画の策定を依頼した。
- ③ 教職員を対象とし、障がいのある学生の主学支援会議を開催した。
- ④ コロナ禍の新たな試みとして、Zoomでのオンライン開催とした。

- 開催状況(教員の参加状況含む)

 - ① 令和2年度は、全体研修を4月15日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。 ② 令和2年度は前期は8月に、後期は1月に「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、令和3年 1月に令和元年度後期と令和2年度前期のアンケート結果に基づいた改善計画の策定を依頼した。 - トの結果は担当所管窓口において公開(閲覧)している。 した。また、
 - ③ 令和2年度は、11/27に障がいのある学生の就学支援会議をZoomにより実施し、50名弱が参加した。
 - ④ 6大学それぞれから「オンライン授業の質保証」として、ご講演いただいた。
- 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長で ある研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化
- させることができた。 「大学院満足度・授業評価アンケート」に基づき、より具体的な改善計画を策定することで、 授業にとどまらず日常の研究指導等についても現状の理解を深め、対応することができている。
- ③ 障がいのある学生の支援方法について、そのプロセスから具体的な方法を再共有することができた。
- ハラスメント講習会では、ハラスメントの防止を主に発生した場合の対応についも理解を深めた。 ④ コロナ禍における各大学のオンライン授業の実施方法を共有することで、教員の意識も高まり、 質の向上につなげることができた。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。(学生ポータルサイト利用によるアンケート)

- b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・ 集計結果を専攻主任・主事に回覧し、専攻内教員での共有を依頼し、専攻としての改善計画を策定して いる。
 - ・ 学生に対しては、担当所管窓口において公開(閲覧)している。
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項
- ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻博士後期課程は、優れた人間性を有し、国内外の大学・研究機関・企業等において研究・開発のリーダーとして 貢献する人材、さらに国際的な研究活動も重視し、大学教員並びに関連産業・研究機関・行政機関等において、研究、 開発、行政のリーダー的存在となる人材を養成する。 開設1年目にあたる今和3年度は、新入生を迎え入れることが出来なかった。今後は大学院博士後期課程進学希望者に

開設1年目にあたる令和3年度は、新入生を迎え入れることが出来なかった。今後は大学院博士後期課程進学希望者に 対して、これまでの進路指導に加えて、後期課程修了後のキャリアプランを提示し、課程修了後の不安を軽減させる取 り組みを行い、入学者確保に努めていく。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和3年7月31日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成31年度(令和元年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し適合認定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

-				
	0	設置計画履行状況報告	·言書(令和3年度)	
	а	公表予定の有無	[有 • 無]	
	b	で「有」の場合≫ 公表 (予定)時期 公表方法	〔調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 〕〔ウェブサイトへの掲載 ・ その他() 〕)
		で公表「無」の場合≫		J
	d	公表しない理由		J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 私立104

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 研究科の設置

注1

届出

東京農業大学大学院 生命科学研究科 分子生命化学専攻(修士課程) 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画広報室

戦名・氏名 ま任 清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

(夜間) 同上

e -mail <u>kaikaku@nodai.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命科学研究科

< 欠	分子生命化学専攻(M)>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 13
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 21

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人東京農業大学

- (2) 大 学 名 東京農業大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学 長	(エグチ フミオ) 江口 文陽 (令和3年4月)		
研究科委員長	(サカタ ヨウイチ) 坂田 洋一 (令和3年4月)		
専攻主任	(イシガミ ケン) 石神 健 (令和3年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> <u>その場合別ファイルを作成し提出してください。</u>
 - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時										
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	備考						
生命科学研究科 分子生命化学専攻 修士(農学)	農学関係	年 2	人 20	年次 人 一		新規入学者を 募集中							

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	令和;	3 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
A 入学定員	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	20人	— 入 —)				
	[-	_ , _]	[-	_ , _]	[-	_ , _]	[-	_ , _]	[-	_ , _]				
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]			— (—) [—]	— (—) [—]		— (—) [—]	67 (-) [1]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	64 (-) [1]	— (—) [—]	2.10 倍	— 倍		
合格者数	_ (_) [_]	— (—) [—]		_ (_) [_]	— (—) [—]	_ (_) [_]		— (—) [—]	47 (-) [1]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (<u>—)</u> [<u>—]</u>	— (—) [—]		— (<u>—)</u> [—]	— (—) [—]	— (<u>—)</u> [—]	— (<u>)</u> [<u>]</u>	— (—) [—]	42 (-) [1]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	-		-	_	_	_	_	_	2.	10				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和克	元年度	令和 2	2年度	令和 (3年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1VHI	75
	_	_	_	_	_	_	_	_	42	_		
1 年次	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[1]	[—]		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
			_	_	_	_	_	_	_	_		
2 年次			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
0.5%					_	_	_	_	_	_		
3 年次					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
					(—)	(-)	(—)	(—)	(—)	(—)		
4 年次							_ [—]	— [—]				
4 + 0							(—)	(—)	[—] (—)	[—] (—)		
	_		_					_ (_/		2		
計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]		- 1]		
	(-	_)	(-	_)	(-	_)	(-	_)	,	_)		

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	内訳 退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)																				
对家牛皮			八十七八十尺		うち留学生数																					
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人																					
平成30年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人																					
十成30年度	– X	– X	平成30年度	人	人																					
			平成29年度	人	人																					
令和元年度	— 人	- 人	平成30年度	人	人																					
			令和元年度	人	人																					
			平成29年度	人	Д																					
令和2年度			平成30年度	人	人																					
₩2年度	— 人	— 人	令和元年度	人	Д																					
			令和2年度	人	Д																					
			平成29年度	人	人																					
			平成30年度	人	人																					
令和3年度	42 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	. 0人	0 人	、 0人	、 0人	、 0人	、 0人	. 0人	、 0人	. 0人	0 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人																					
			令和3年度	0 人	0 人																					
合 計		0 人		0 人	0 人																					

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	= -		=	%
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	= -		=	%
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	= -		=	%
【令和2年度】				
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	= -		=	_ %
「令和3年度】		_		
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	= -	0 42	=	0 %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<生命科学研究科 分子生命化学専攻(M)>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	į	单位数	ŧt	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分		华次	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼扣
-			1185	170	ш	12	12	Pili	- 2 X		72
生命	知的財産管理法	1前		2							1
共通科											
14 ZII	インターンシップ	2前		2		4	5		1		
中究	127 2297	4 H I		4		4	- O		1		
科	小計 (2科目)	-	0	4	0	4	5	0	1	0	1
	研究倫理	1後	2			4					1
	英語論文講読 I	1前	2			4	5		1		
基	英語論文講読Ⅱ	1後	2			4	5		1		
礎	プレゼンテーション法 I	2前	2				3				
科	プレゼンテーション法Ⅱ	2後	2				2		1		
目	先端有機化学	1前		2		2	2				
	分子機能解析学	1前		2		2	2		1		
	小計 (7科目)	-	10	4	0	4	5	0	1	0	1
	分子設計学特論	1後		2		1	1				
特	有機合成化学特論	1後		2		1	1				
論	ケミカルバイオロジー特論	1後		2		1	1				
科	分析化学特論	1後		2		1	1				
目	生命高分子化学特論	1後		2			1				
	小計(5科目)	_	0	10	0	4	5	0	0	0	0
	分子生命化学特別演習 I	1前	2			4	5				
	分子生命化学特別演習Ⅱ	1後	2			4	5				
-π	分子生命化学特別演習Ⅲ	2前	2			4	5				
竹	分子生命化学特別演習IV	2後	2			4	5				
研究科目	分子生命化学特別実験 I	1前	2			4	5		İ		
HH	分子生命化学特別実験Ⅱ	1後	2			4	5		İ		
	分子生命化学特別実験Ⅲ	2前	2			4	5		İ		
I	分子生命化学特別実験IV	2後	2			4	5				
	小計 (8科目)	-	16	0	0	4	5	0	0	0	0
	合計(22科目)		26	18	0	4	5	0	1	0	2

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研 究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格する

【履修方法】

必修科目26単位、選択必修科目4単位(基礎科目の選択科目から2単位、特論 科目から主たる領域を2単位選択)の合計30単位以上を修得すること。

【令和3年度】

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
生命共和	知的財産管理法	1前		2							1
共通科目 研究科	インターンシップ	2前		2		4	5		1		
	小計(2科目)	_	0	4	0	4	5	0	1	0	1
	研究倫理	1後	2			4					1
	英語論文講読 I	1前	2			4	5		1		
基	英語論文講読 Ⅱ	1後	2			4	5		1		
礎	プレゼンテーション法 I	2前	2				3				
科	プレゼンテーション法Ⅱ	2後	2				2		1		
目	先端有機化学	1前		2		2	2				
	分子機能解析学	1前		2		2	2		1		
	小計 (7科目)	_	10	4	0	4	5	0	1	0	1
l	分子設計学特論	1後		2		1	1				
特	有機合成化学特論	1後		2		1	1				
論	ケミカルバイオロジー特論	1後		2		1	1				
科	分析化学特論 生命高分子化学特論	1後		2		1	1				
目	小計(5科目)	1後	0	10	0	4	5	0	0	0	0
-	分子生命化学特別演習 I	1前	2	10	U	4	5	U	U	U	0
	分子生命化学特別演習 II	1後	2			4	5				
	分子生命化学特別演習Ⅲ	2前	2			4	5				
研	分子生命化学特別演習IV	2後	2			4	5				
究	分子生命化学特別実験 I	1前	2			4	5				
科	分子生命化学特別実験 Ⅱ	1後	2			4	5				
目	分子生命化学特別実験Ⅲ	2前	2			4	5				
I	分子生命化学特別実験IV	2後	2			4	5				
	小計(8科目)	-	16	0	0	4	5	0	0	0	0
	合計(22科目)	_	26	18	0	4	5	0	1	0	2

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研 究指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格する

【履修方法】

必修科目26単位、選択必修科目4単位(基礎科目の選択科目から2単位、特論 科目から主たる領域を2単位選択)の合計30単位以上を修得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - ·ジ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。) 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

特になし。		
		!

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

Ī		設置時の計画										変更	状況				備考
	必修	多	選択	1	自日	由	計(A)	必修		選択		自	±	計		1用行
	13	科目	9	科目	0	科目	22	科目	13 [—	科目	9	科目	0	科目	22 [—	科目	変更なし

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1 科目滅の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし 					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当な	;i		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

施設・設備の整備状況,経費 3

	区		分					内				容		備考
(1)		区	分		専		用	共	用		ŧ用する他の ⋭校等の専用		計	東京農業大学第一高等学校(収容定員1,050人、面
		校翁	舎 敷 坮	<u>ե</u>		354,	, 079. 78 m²		0	m²	15, 350. 70	6 m²	369, 430. 54 m	I A III (NATIVE ME 100) (
校		運重	力場用地	ļ		31,	, 147. 98 m²		30, 935. 81	m²	6, 453. 99	9 m²	68, 537. 78 m	a 面積基準 運動場4,950㎡) と共用
		小	計	-		385,	, 227. 76 m²		30, 935. 81	m²	21, 804. 7	5 m²	437, 968. 32 m	借用面積:3, 570. 24㎡
地		そ	の他	1	2,	, 662,	, 651. 56 m²						2, 662, 651. 56 m	借用期間:60年 上越土地返還、ゲストハ
			07 12	'	2,	, 66 4,	, 609. 34 m ²		0	m²	(0 m²	2, 664, 609. 34 m	ウス売却したため (3)
等		合	計				, 879. 32 m²						3, 100, 619. 88 m	
					3,	, 049,	, 837. 10 m²		30, 935. 81		21, 804. 7	5 m²	3, 049, 837. 10 m	
					専	Ī	用	共	用	-	は用する他の 学校等の専用		計	大学全体 建物増築及び改修工事等 による用途変更のため(3)
(0) ++			^			216,	5, 567. 88 m ²		0	m²	($0 \mathrm{m}^2$	216, 567. 88 m	こよる用述を更いため(3)
(2) 校			舎			226,	, 036. 40 m²		0	m²	(0 m²	226, 036. 40 m	2
							$09 \mathrm{m}^2)$	($0\mathrm{m}^2)$	($0\mathrm{m}^2$		25, 940. 09 m²)	
				-44	()	874.	66 m²)	(0 m²)	(0 m ²)	\-	38, 874. 66 m²)	
				講	義室		演習	室室	実験実	習室	情報処理学習		語学学習施設 0室	大学全体 建物増築及び改修工事等
(3) 教	教 室 等 101室)1安		83室		706室		8室	1 <u>字</u>	ニュレス田込みまる4 4 /0)	
						ハ王		60室		637室	(補助職員	2人) (補助職員 0人)	
/ 4 \ =	IT #5	, — <i>τ</i> π <i>σ</i>				•	新設学部	等の名称			室		数	研究科全体から専攻全体 に記載変更(3)
(4) 寄	1士教	八員研究室		生命科	学研	T究科 分	子生命化学	專攻 (M)		4	4 7	室	10.此载发文(0)	
(5)	翁	新設字部等 「うちぬ国津」 「うち		1、一		学術 〔うちタ	雑誌 (国書)	電子ジャ	ーナル	視聴覚資料	機械・器	具 標 本	図書:新規購入による増(3) 学術雑誌:契約変更による減	
(0)		の名	袮	,	J/106/	€	()),	種	〔うち外		点		点点	AD DE ANA AND LODGE TO USE TO A LONG (A)
IWI			174, 21	7 [42, 257])	18,514 [1	0, 758]	8,768 [8	, 583]	7, 872	2,	119 33, 778		
図書	生命	命科学	研究科		95 [41, 409		(18, 226 [(8, 388 [8		(7, 756)	(3, 41)	*	位での特定不能なため、大学全体の数
• ≣∆					73 (40, 750		(18, 514 ((8, 768 [8		(7, 650)	(2, 11!		○大学全体での共用図書371,689 [33,876]
備		-1		-	7 [42, 257]		18, 514 [1	, ,		[8, 583]	7, 872		119 33, 778	る ○学術雑誌,電子ジャーナル,視聴覚 資料は、大学全体の数
		計			95 (41, 409 73 (40, 750		(18, 226 (-(18, 514 ((8, 388 [8 -(8, 768 [8		(7, 756) (7, 650)	(3, 41)	*	
				-(164, 4	雨))	(18, 514) 積	10, 758)	(8,708(8 閲覧座	,, ,	(7, 650) 収	(2, 11) 納 可	沙 (33,778) 能 冊 数	大学全体
(6) 図		書	館				8, 026. 19	9 m²	PW 36 A	<i>mi.</i> 22	1, 383	443	1, 162, 000	- I
					面		積		-	体育館以	外のスポーツ旅	西設の概要	, ,	大学全体
(7) 体		育	館					- 3	-6 15	_	_		4 面	- 既存施設の用途変更のため (3)
	10, 371. 27		7㎡ 野	球場	2	面 テニ	スコ	一 ト 6 亜						
			Z	Σ	分	厚	引設年度	完成年月	度 区	分	開設前年度	開設年度	完成年度	
(8)		経費 の見	教員 1	人当り	研究費等		460千円	460=	f円 図書!	購入費	209千円	364₹	-円 364千円	
経費の 積り及)見	積り	共 同	研 3	光 費 等	:	3,886千円	3,886=	F円 設備!	購入費	25, 225千円	3, 216₹	一円 3,216千円	
維持方	i法		1 人当	第	1 年次		第2年次	第	3年次	第 4 年	- 三次 第	5 年次	第6年次	j
の概)概要 り 納付金 1,482.6千円 1,274.6千				-円	H — FH — FH — FF — FF								
							基 私立大	学等経常費	費補助金収入	、寄付金	収入、手数料	収入 等]

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 松全等建物の計画の変面(松全又は休音館の絵面積の減少・建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」

 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京農	業大	学力	学 院		学生募集停止学科数	22	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		8	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
農学研究科													
博士前期課程	2	36	_	62	_	1. 06	1. 19	_	_				
農学専攻	2	14	_	28	修士 (農学)	1. 10	1. 28	_	昭和28	神奈川県厚木市船-	子1737		
動物科学専攻	2	12	_	24	修士 (農学)	1. 08	1.00	_	昭和61	同上			
バイオセラピー専攻	2	10	_	10	修士 (農学)	0. 95	1. 30	_	平成22	同上			
バイオサイエンス専攻	_	_	_	_	修士(バイオサイエ ンス)	_	_	_	平成14	東京都世田谷区桜」	£1−1−	令和3年学生	上募集停止
農芸化学専攻	_	_	_	_	修士 (農芸化学)	_	_	_	昭和32	同上		令和2年学生	上募集停止
醸造学専攻	_	_	_	_	修士 (醸造学)	_	_	_	平成2	同上		令和2年学生	上募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	修士 (食品栄養学)	_	_	_	昭和61	同上		令和2年学生	Ł募集停止
林学専攻	_	_	_	_	修士 (林学)	_	_	_	昭和61	同上		令和3年学生	上募集停止
農業工学専攻	_	_	_	_	修士 (農業工学)	_	_	_	平成2	同上		令和3年学生	上募集停止
造園学専攻	_	_	_	_	修士 (造園学)	_	_	_	平成2	同上		令和3年学生	上募集停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	修士(国際農業開発 学)	_	_	_	平成2	同上		令和3年学生	上募集停止
農業経済学専攻	_	_	_	_	修士 (農業経済学)	_	_	_	昭和28	同上		令和3年学生	上募集停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	_	_	修士(国際バイオビ ジネス学)	_	_	_	平成14	同上		令和3年学生	上募集停止
食品安全健康学専攻	_	_	_	_	修士(食品安全健康 学)	_	_	_	平成30	同上		令和2年学生	上募集停止
博士後期課程	3	12		36		0. 49	0. 50						
農学専攻	3	5		15	博士	0. 49	0. 30	_		神奈川県厚木市船	7 1707		
展子等攻 動物科学専攻	3	4		12	(農学)博士	0. 20	0. 40	_	平成2	同上	T1/3/		
動物14子子及 バイオセラピー学専攻	3	3		9	(農学) 博士	0. 66	0. 66		平成24	同上			
バイオサイエンス専攻	3	3		9	(農学) 博士 (バイオサイエ	0.00	0.00	_		東京都世田谷区桜」	丘1-1-	令和3年学生	L 草 隹 倬 i L
農芸化学専攻					ンス) 博士				昭和34	1 同上		令和2年学生	
醸造学専攻				_	(農芸化学) 博士			_	平成14	同上		令和2年学生	
食品栄養学専攻				_	(醸造学) 博士			_	平成14			令和2年学生	
林学専攻					(食品栄養学) 博士				平成14	同上		令和3年学生	
農業工学専攻					(林学) 博士				平成2			令和3年学生	
造園学専攻					(農業工学) 博士				平成14			令和3年学生	
国際農業開発学専攻					(造園学) 博士(国際農業開発				平成14			令和3年学生	
農業経済学専攻					学) 博士				昭和37			令和3年学生	
国際バイオビジネス学専攻					(農業経済学) 博士 (国際バイオビ				平成16			令和3年学生	
環境共生学専攻					ジネス学) 博士				平成10			令和3年学生	
- ペポパエナザダ	_				(環境共生学)			_	1.11%7	(H) 소		12.140+7-2	ニカネげエ
応用生物科学研究科						4							
博士前期課程 農芸化学専攻	2	76 30		152 60	— 修士	0. 95 1. 01	0. 88 1. 00	_	— 全和?	東京都世田谷区桜!	£1−1−		
<u>辰云化字导攻</u> 醸造学専攻	2	20		40	(農学) 修士	1. 01	0. 95	_	令和2	同上			
<u> </u>	2			40	(農学) 修士	0. 77	0. 95	_	令和2				
	2			12	(農学) 修士	0. 77	0. 70	_	令和2				
食品栄養学専攻	2	6		12	(農学)	0. 99	U. 00	_	市和2	旧工			

	1	1		1	1	ı	ı	1	1	1	
博士後期課程	3	12	_	35	_	0. 33	0. 33	_	_		
農芸化学専攻	3	5	_	15	1-4-1	0. 30	0. 20	_	令和2	同上	
<u>藤</u> 造学専攻	3	2		5	博士	0. 25	0.00		令和2	同上	
	_		_		(農学) 博士			_			
<u>食品安全健康学専攻</u>	3	3	_	9	(農学)	0. 33	0. 66	_	令和2	同上	
<u>食品栄養学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	令和2	同上	
生命科学研究科											
博士前期課程	2	70	_	140	_	2. 05	2. 05	_	_		
<u>バイオサイエンス専攻</u>	2	30	_	60	修士 (農学)	1. 93	1. 93	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
修士課程											
<u>分子生命化学専攻</u>	2	20	_	40	修士 (農学)	2. 10	2. 10	_	令和3	同上	
<u>分子微生物学専攻</u>	2	20	_	40	修士 (農学)	2. 20	2. 20	_	令和3	同上	
博士後期課程	3	5	_	15	_	0. 00	0.00	_	_		
<u>バイオサイエンス専攻</u>	3	5	_	15	博士 (農学)	0.00	0.00	_	令和3	同上	
<u>地域環境科学研究科</u>											
博士前期課程	2	32	_	64		1. 18	1. 18	_	_		
<u>林学専攻</u>	2	8	_	16	(辰子)	1. 00	1.00	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農業工学専攻</u>	2	8	_	16	修士 (農学)	1. 00	1.00	_	令和3	同上	
<u>造園学専攻</u>	2	10	_	20	修士(農学)	1. 40	1.40	_	令和3	同上	
修士課程					(辰子)						
<u>地域創成科学専攻</u>	2	6	_	12	修士 (農学)	1. 33	1. 33	_	令和3	同上	
博士後期課程	3	6	_	18	_	0. 50	0. 50	_	_		
<u>林学専攻</u>	3	2	_	6	博士 (農学)	0. 50	0. 50	_	令和3	同上	
農業工学専攻	3	2	_	6	博士 (農学)	1. 00	1.00	_	令和3	同上	
造園学専攻	3	2	_	6	博士	0.00	0.00	_	令和3	同上	
<u> </u>	Ů	_			(農学)	0.00	0.00		13.140		
国際食料農業科学研究科											
博士前期課程	2	43	_	86		0. 72	0. 72	_	_		
国際農業開発学専攻	2	18	_	36	修士 (農学)	0. 55	0. 55	_	令和3	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農業経済学専攻</u>	2	8	_	16	修士 (農学)	0. 62	0. 62	_	令和3	同上	
国際アグリビジネス学専攻	2	10	_	20	Mr_L	0. 60	0. 60	_	令和3	同上	
修士課程					(辰子)						
国際食農科学専攻	2	7	_	14	修士 (農学)	1. 42	1. 42	_	令和3	同上	
博士後期課程	3	6		18	_	1. 33	1. 33	_	_		
国際農業開発学専攻	3	2	_	6	博士	2. 50	2. 50		— 令和3	同上	
農業経済学専攻	3	2		6	博士	0. 50	0. 50		令和3	同上	
					(農学) 博士						
国際アグリビジネス学専攻	3	2	_	6	(農学)	1. 00	1. 00	_	令和3	同上	
生物産業学研究科											
博士前期課程	2	20	_	40	_	1. 12	0. 85	_	_		
生物生産学専攻	2	7	_	14	修士 (農学)	1. 13	0. 85	_	平成22	北海道網走市八坂 196	
アクアバイオ学専攻	2	5	_	10	Mr_L	1. 10	0. 80	_	平成22	同上	
食品香粧学専攻	2	5	_	10	修士	1. 50	1. 20		平成22	同上	
度	2	3			(辰子) 修士(農学又は経営	0. 49	0. 33		平成22	同上	
庄未社呂子等以		٥		0	学)	0.49	0.33	_	十八22	旧上	
博士後期課程	3	8	_	24	_	0. 66	0. 25	_	_		
生物産業学専攻	3	8	_	24	博士 (農学又は経営 学)	0. 66	0. 25	_	平成7	同上	
大学院全体	_	326	_	690	_	_	_	_	_	_	

大学の名称	東	京農	業大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学部		558		2, 232		1. 03	1. 01	_	_	神奈川県厚木市船子1737	
農学科	4	170	_	680	学士 (農学)	1. 03	1. 00	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△16)
動物科学科	4	140	_	560	学士 (農学)	1. 04	1. 07	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△10)
生物資源開発学科	4	125	_	500	学士 (農学)	1. 04	1. 00	_	平成30	同上	
<u>デザイン農学科</u>	4	123	_	492	学士 (農学)	1. 01	0. 98	_	平成30	同上	
応用生物科学部		570		2, 280		1. 04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>農芸化学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 00	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>醸造科学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 05	1. 08	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>食品安全健康学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成26	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>栄養科学科</u>	4	120	_	480	学士 (農学)	1. 04	1. 02	_	平成10	同上	H31編入定員変更 (△4)
生命科学部		410		1, 640		1. 04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>バイオサイエンス学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成29	同上	
<u>分子生命化学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成29	同上	
<u>分子微生物学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1.06	1.04	平成30	平成29	同上	
地域環境科学部		490		1, 960		1. 03	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
森林総合科学科	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△6)
<u>生産環境工学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△3)
<u>造園科学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 05	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>地域創成科学科</u>	4	100	_	400	学士 (農学)	1. 05	1. 07	平成30	平成29	同上	
国際食料情報学部		600		2, 400		1. 03	1. 03			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
国際農業開発学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>食料環境経済学科</u>	4	190	_	760	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△5)
国際食農科学科	4	110	_	440	学士 (農学)	1. 04	1. 06	平成30	平成29	同上	
生物産業学部		363		1, 452		1. 02	0. 95			北海道網走市八坂 196	
北方圏農学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 02	0. 92	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (△10) R02編入定員変更 (△10)
海洋水産学科	4	91	-	364	学士 (農学)	1.06	1. 05	_	平成18	同上	R02入学定員変更(11)
食香粧化学科	4	91	_	364	学士 (農学)	0. 97	0. 91	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (11) R02編入定員変更 (△12)
自然資源経営学科	4	90	_	360	学士 (経営学)	1. 03	0. 92	_	平成1	同上	R02編入定員変更 (△5)
大学全体	4	2, 991	_	11, 964	_	_	_	_	_	_	

大学の名称	東	京情	報大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0		
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在 地		VIII	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度					
総合情報学部 総合情報学科	4	400	人 3年次 10	1, 620	学士(総合情 報学)	1. 16	1. 12	_	平成25	千葉県千5 4-1	東市若葉区御 师	成台		
看護学部														
看護学科	4	100	_	400	学士(看護 学)	0. 87	1.00	_	平成29		同上			
大学全体	4	500	3年次 10	2, 020	_	_	_	_	_			_		
大学の名称	東	京情	報大	学 ブ	学院		学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在 地			
	年	人	年次	人		倍	倍							
			人											
総合情報学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻	2	15		30	修士(総合情報学)	0. 53	0, 66		平成4	千葉県千芽	東市若葉区御 府	成台		
祁口阴拟子导攻		15		30	1991年(花白旧報子)	0. 53	0.00	_	十八八4	4-1				
博士後期課程 総合情報学専攻	3	3	_	9	博士(総合情報学)	0. 11	0.00	_	平成11		同上			
大学院全体	_	18	_	39	_		_	_	_			_		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	2
名	名	名

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学院】

	Ē	设置 時	の計に	画				現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	5	0	1	10	0	4	5	0	1	10	0
(4) 研究指導教 数	(5)		(1) 義のみ担当 の教員数	(10)	(-)	研究指導教 数	対員 研究指 教員		義のみ担当 の教員数		
7 (7)	:	2	1 (1)			7		2	1		
() /			完成年度時	の状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	5	0	1	10	0	4	5	0	1	10	0
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
研究指導教 数	で員 研究指 教員	導補助 講	義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	放員 研究指 教員	導補助 講 員数	義のみ担当 の教員数		
7 (-)	(-	-	1 (-)			7 (-)	:	2 –)	1 (-)		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)		完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 70	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 100

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退 (未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	эм ‡	坦当予定科目	後	壬補充牡	犬況	京	尤任辞 退	【人未	就任)の理	由	
				該当なし													
									_								
	!			合計	(D)						往	後任補充状況	の集計	(E))		
	京	任る	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数 (b))	③の合言	数(3)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	λ.	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					100	†	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自	1091	担当予定科目	後任	補充物	犬況		刮	任等	の理由		
				該当なし													
				合計	(F)						往	後任補充状況	の集計	(G))		
		辞	任l	した教員数	担当科目	制数の合詞	† (a) +	+ (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	†数 (b))	③の合計	数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					i	it	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数						
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
0	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目			

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

 (3)-③合計(D)+(F)
 =
 0

 (2)-②設置時の計画(A)
 =
 10

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由		
				該当なし												
										<u> </u>						
			_	Ź	計						後任補充物	犬況の剣	制			
		辞	任l	た 教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	ł数 (b))	③の合計	数(c))
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
Ī			•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
届出時(令和2年)	該当なし			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学研究科 分子生命化学専攻(M)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	授業等については、原則、対面で実施しているが、オンラインでの実施やオンデマンド配信(2開講分)を認め、柔軟な対応を行い、必要な学修時間を確保する。今後、大幅な変更を行うような状況になった場合は、学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会並びに大学院教学検討委員会があり、大学教員としての 資質の維持向上を図っている。

また、専攻主任会議において大学院としての取り組みを行っている。

※関係規程等「東京農業大学全学審議会規程(資料1)」「東京農業大学大学院学則(資料2)」 「東京農業大学大学院専攻主任会議規程(資料3)」「全学審議会設置委員会(一部抜粋)(資料4)」 「東京農業大学教学検討委員会内規(資料5)」

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

大学院教学検討委員会は、令和2年度は4回(7/28、9/28、11/30、3/16)開催され、委員は研究科委員長、専攻主任から選出された者、教務支援部長の役職者を充てている。また、副学長(教学担当)がオブザーバーとして参加する。

専攻主任会議は毎月開催され、構成員は研究科委員長、各専攻主任教授となっている。

- c 委員会の審議事項等
 - 大学院教学検討委員会活動計画に関する事項
 - ・大学院FD活動に関する事項(大学院満足度・授業評価アンケート項目の改善と実施、及び改善計画書の策定)
 - ・ファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項(一貫教育WG、GPAに関するWG、学生研究支援WG、ナンバリングWG)
 - ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項
 - ・ 論文審査に関する事項
 - その他

② 実施状況

- a 実施内容
- ① 新任教員のための研修会
- ② 大学院満足度・授業評価アンケート実施と専攻へのフィードバック及び改善計画書の策定
- ③ 障がいのある学生の支援会議
- ④ 世田谷プラットフォーム主催 F D シンポジウム(国士舘大学、駒澤大学、成城大学、昭和女子大学、 東京都市大学、東京農業大学)の企画
- b 実施方法
- ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、建学の精神、教員の心得、ハラスメント防止、研究活動の適正な実施等について説明を行った。更に、学部学科、専攻単位で独自の研修やフォローアップを行っている。
- ② 大学院生を対象として前・後学期に各1回「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、実施結果をフィードバックし、各専攻に改善計画の策定を依頼した。
- ③ 教職員を対象とし、障がいのある学生の主学支援会議を開催した。
- ④ コロナ禍の新たな試みとして、Zoomでのオンライン開催とした。

- 開催状況(教員の参加状況含む)

 - ① 令和2年度は、全体研修を4月15日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。 ② 令和2年度は前期は8月に、後期は1月に「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、令和3年 1月に令和元年度後期と令和2年度前期のアンケート結果に基づいた改善計画の策定を依頼した。 - トの結果は担当所管窓口において公開(閲覧)している。 した。また、
 - ③ 令和2年度は、11/27に障がいのある学生の就学支援会議をZoomにより実施し、50名弱が参加した。
 - ④ 6大学それぞれから「オンライン授業の質保証」として、ご講演いただいた。
- 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長で ある研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化
- させることができた。 「大学院満足度・授業評価アンケート」に基づき、より具体的な改善計画を策定することで、 授業にとどまらず日常の研究指導等についても現状の理解を深め、対応することができている。
- ③ 障がいのある学生の支援方法について、そのプロセスから具体的な方法を再共有することができた。
- ハラスメント講習会では、ハラスメントの防止を主に発生した場合の対応についも理解を深めた。 ④ コロナ禍における各大学のオンライン授業の実施方法を共有することで、教員の意識も高まり、 質の向上につなげることができた。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。(学生ポータルサイト利用によるアンケート)

- b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・ 集計結果を専攻主任・主事に回覧し、専攻内教員での共有を依頼し、専攻としての改善計画を策定して いる。
 - ・ 学生に対しては、担当所管窓口において公開(閲覧)している。
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項
- ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻修士課程では、様々な自然・生命現象を研究対象とし、分子論的な解釈と化学的なアプローチで追及するが、 基礎・応用の両面から研究遂行能力を修得できる教育研究体制のもと、高度な知識と研究能力、高度な問題解決力を備 えた人材を養成する。

開設1年目にあたる令和3年度は、新入生42名を迎え入れ、42名の学生に対して専攻の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - 令和3年7月31日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成31年度(令和元年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し適合認定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

O 設置計画履行状況報告書(令和3年度)	
a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕	
≪ a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 〔 (調査結果公表後 1 ヶ月以内)・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以 c 公表方法 (ウェブサイトへの掲載)・ その他(降 〕) 〕
≪aで公表「無」の場合≫ d 公表しない理由 〔)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

大学番号 私立104

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 研究科の設置

注1

届出

東京農業大学大学院 生命科学研究科 分子微生物学専攻(修士課程) 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画広報室

戦名・氏名 ま任 清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

(夜間) 同上

e —mail <u>kaikaku@nodai.ac.jp</u>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命科学研究科

< 欠	分子微生物学専攻(M)>	ページ	,
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	٤
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	S
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	3
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2	1
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2	2

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人東京農業大学

- (2) 大 学 名 東京農業大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(オオサワ カンジュ)		
理 事 長	大澤 貫寿		
	(平成23年7月)		
	(エグチ フミオ)		
学 長	江口 文陽		
	(令和3年4月)		
	(サカタ ヨウイチ)		
研究科委員長	坂田 洋一		
	(令和3年4月)		
	(タナカ ナオト)		
専攻主任	田中 尚人		
	(令和3年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。 その場合別ファイルを作成し提出してください。
 - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考			
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1	
生命科学研究科 分子微生物学専攻 修士(農学)	農学関係	年 2	人 20	年次 人 一		新規入学者を 募集中		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年	变 平成 2	9年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2 年度	令和:	3 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
A 入学定員	—入 (.	—人 —)	,	—人 -)	一人	—人 -)	一人	—人 -)	20人	—人 —)				
	<u> </u>	_ <u>´</u>	<u>`</u> -	<u> </u>	<u> </u>	_ <u></u>	<u> </u>	_ <u></u>	<u>`</u> -	_ <u></u>				
志願者数	(<u>—)</u>	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	64 (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	(<u>—)</u> [<u>—]</u>	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	62 (—) [—]	— (—) [—]	2.20 倍	— 倍		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	_ (_) [_]	— (—) [—]	_ (_) [_]	— (—) [—]	48 (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	(—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		— (<u>—</u>) [—]	 - -	 - -	44 (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	員超過率		_	_	_	_	_	_	2.	20				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	9年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2年度	令和 (3年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VFI	79
	_	_	_	_	_	_	_	_	44	_		
1 年次	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
			_	_	_	_	_	_	_	_		
2 年次			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
					_	_	_	_	_	_		
3 年次					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
					(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
4 5 25							_	_	_	_		
4 年次							[—]	[—]	[—]	[—]		
							(—)	(—)	(—)	(—)		
計	г –	- -]	г -	- 1	г –	- -]	_ _	- -]				
βl	(-	—) — 1	(-	-) - 1	(-	-) - 1	(-	–) – 1	(-	-] -)		

- ・令和3年5月1日 公表
 - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
7,34+12			71, 011 1 i		うち留学生数	
平成29年度	— 人	一人	平成29年度	人	人	
平成30年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人	
1 级00平皮	_ X	— X	平成30年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	人	人	
节和2千皮		— X	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	44 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	一人	一人	
合 計		0 人		一人	一人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】					
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	= —		=	_	%
【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	· = —		=	_	%
【令和元年度】					
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	= —		=	_	%
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	· = 		=	_	%
【令和3年度】					
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	· = —	0 44	=	0	%

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<生命科学研究科 分子微生物学専攻(M)>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

<u> </u>		配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
生共命	知的財産管理法	1前		2							1
通科 科学 目研究	インターンシップ	2前		2		4	6				
	小計 (2科目)	-	0	4	0	4	6	0	0	0	1
	研究倫理	1前	1			1	2				1
	論文英語 I	1前	1			4	6				
	論文英語Ⅱ	1後	1			4	6				
基	論文英語Ⅲ	2前	1			4	6				
礎	論文英語Ⅳ	2後	1			4	6				
科目	プレゼンテーション法	2前	1			4	6				
H	微生物利用学	1前		2		2	4				
	微生物生命機能学	1後		2		2	2				
	生命機器分析化学	2前	_	2		2	2				
	小計 (9科目) 微生物機能科学特論 I	-	6	6	0	4	6	0	0	0	1
特	微生物機能科学特論 II	1前 1後		2		2	2				
論	微生物共生作用学特論 I	1前		2		2	4				
科	微生物共生作用学特論Ⅱ	1後		2		2	4				
目	小計(4科目)	11友	0	8	0	4	6	0	0	0	0
	分子微生物特別演習 I	1前	2			4	6			_	_
	分子微生物特別演習Ⅱ	1後	2			4	6				
	分子微生物特別演習Ⅲ	2前	2			4	6				
研	分子微生物特別演習IV	2後	2			4	6				
究科	分子微生物特別実験 I	1前	2			4	6				
目	分子微生物特別実験 Ⅱ	1後	2			4	6				
	分子微生物特別実験Ⅲ	2前	2			4	6				
	分子微生物特別実験IV	2後	2			4	6				
	小計(8科目)	_	16	0	0	4	6	0	0	0	0
	合計(23科目)	_	22	18	0	4	6	0	0	0	2

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】

必修科目22単位、選択必修科目4単位(特論科目の中から主たる研究領域を2科 目選択)、選択科目4単位以上の合計30単位以上を修得すること。

【令和3年度】

		配	Ĺ	单位数	文	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
生命	知的財産管理法	1前		2							1
通科 科学 目研究	インターンシップ	2前		2		5	5				
	小計 (2科目)	_	0	4	0	5	5	0	0	0	1
	研究倫理	1前	1			1	2				1
	論文英語 I	1前	1			5	5				
	論文英語Ⅱ	1後	1			5	5				
基	論文英語Ⅲ	2前	1			5	5				
礎	論文英語IV	2後	1			5	5				
科	プレゼンテーション法	2前	1			5	5				
目	微生物利用学	1前		2		3	3				
	微生物生命機能学	1後		2		2	2				
	生命機器分析化学	2前		2		2	2				
	小計 (9科目)	_	6	6	0	5	5	0	0	0	1
l	微生物機能科学特論 I	1前		2		3	1				
特	微生物機能科学特論 Ⅱ	1後		2		3	1				
論科	微生物共生作用学特論 I	1前		2		2	4				
目	微生物共生作用学特論Ⅱ	1後		2		2	4				
	小計(4科目)	-	0	8	0	5	5	0	0	0	0
	分子微生物特別演習 I	1前	2			5	5				
	分子微生物特別演習 Ⅱ	1後	2			5	5				
	分子微生物特別演習Ⅲ	2前	2			5	5				
研	分子微生物特別演習IV	2後	2			5	5				
究科	分子微生物特別実験 I	1前	2			5	5				
目	分子微生物特別実験 Ⅱ	1後	2			5	5				
	分子微生物特別実験Ⅲ	2前	2			5	5				
	分子微生物特別実験IV	2後	2			5	5				
	小計(8科目)	_	16	0	0	5	5	0	0	0	0
	合計(23科目)	_	22	18	0	5	5	0	0	0	2

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究 指導を受けた上、当該研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格するこ

【履修方法】

必修科目22単位、選択必修科目4単位(特論科目の中から主たる研究領域を2科 目選択)、選択科目4単位以上の合計30単位以上を修得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・令和3年4月1日付にて、「笠原浩司専任准教授」が専任教授に昇格したことにより、「インターンシップ」「論文英語I」 「論文英語I」「論文英語Ⅲ」「論文英語Ⅳ」「プレゼンテーション法」「分子微生物学特別演習I」「分子微生物学特別演習Ⅱ」 「分子微生物学特別演習Ⅲ」「分子微生物学特別演習Ⅳ」「分子微生物学特別実験I」「分子微生物学特別実験Ⅱ」 「分子微生物学特別実験Ⅲ」「分子微生物学特別実験IV」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6」から「教授5、准教授5」に、 「微生物利用学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授3、准教授3」に、「微生物機能科学特論Ⅰ」 「微生物機能科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授 2」から「教授3、准教授1」変更。

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		設	置時	の計画				変更状況							備考					
必作	多	選択		自日	±	計 (A)		計 (A)		計 (A)		必修 選折		選択		自	由	計		1用行
14	科目	9	科目	0	科目	24	科目	14 [—	科目	9	科目 -]	0	科目	24 [—	科目	変更なし				

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	=# Y/ #>1					
2	── 該当なし ──					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 9
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	24	_	" "

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

(1) 区 分 専 用 共 用 共用 共称する他の学校等の専用 計	人、面 00㎡)、 50人、 , 950㎡) 24㎡
校舎敷地 354,079.78㎡	50人、 , 950㎡) 24㎡ ストハ
世	24㎡ ストハ
地	ストハ
## またい 10 10 10 10 10 10 10 1	
等 合 計 3,047,879.32㎡ 30,935.81㎡ 21,804.75㎡ 3,049,837.10㎡ 大学全体 216,567.88㎡ 3,049,837.10㎡ 226,036.40㎡ (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (226,036.40㎡ 226,036.40㎡ 226,036.40㎡ 226,036.40㎡ (225,940.09㎡) (236,036.40㎡ 226,036.40㎡ (225,940.09㎡) (236,036.40㎡ 226,036.40㎡ (225,940.09㎡) (236,036.40㎡ 226,036.40㎡ (225,940.09㎡)	(3)
本の記事	
専用 共用 共期する他の 学校等の専用 (2) 校 全16,567.88㎡ 0㎡ 0㎡ 216,567.88㎡ (225,940.09㎡) (0㎡) 0㎡ (225,940.09㎡) (225,940.09㎡) (3) 数 室 演習室 実験実習室 情報処理学習施設 語学学習施設 (3) 数 室 101室 83室 706室 8室 1室 (4) 専任教員研究室 新設学部等の名称 室 (補助職員 2人) (補助職員 0人) (4) 専任教員研究室 新設学部等の名称 室 数 (5) 新設学部等の名称 室 学術雑誌 [うち外国書] (うち外国書) 規聴覚資料 機械・器具 標本 (5) 新設学部等の名称 (5) 本の名称 (5) 本の名の名称 (5) 本の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	Ŀ
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	$\overline{}$
(2) 校 舎 216,567,88m 0m 0m 216,567,88m 226,036,40m (225,940,09m) (0m) (0m) (225,940,09m) (238,874,66m) (0m) (238,874,66m) (238	
(225, 940. 09㎡)	7203 (0)
(238,874.66㎡)	
(3) 教 室 等 演 習 室 実験実習室 情報処理学習施設 語学学習施設 大学全体 建物増築及び改修による用途変更の (補助職員 2人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (福助職員 0人) (福助職員 0人) (福助職員 0人) (福助職員 0人) (正記載変更(3) (福助職員 0人) (正記載変更(3) (福助職員 0人) (正記載変更(3) (元記載変更(3) (元記載度) (元記載度) (元記載度) (元記載度) (元記載度) (元記載度) (元記述度) (元記載度) (元記述度)	
(3) 教 室 等 101室 83室 706室 637室 (補助職員 2人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (補助職員 0人) (本利学研究科 分子微生物学専攻 (M) 2 室 数 (補助職員 0人) (記記載変更(3) を	
101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101室 101章	
(4) 専任教員研究室	
生命科学研究科 分子微生物学専攻 (M) 15 47 室 (5) 新設学部等 の名称 [うち外国書] 電子ジャーナル (うち外国書) 電子ジャーナル (うち外国書) 電子ジャーナル (うち外国書) 電子ジャーナル (うち外国書) は (現職党 新規購入による 学術雑誌: 契約変更に (現職党 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職党 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職会 部具: 新規購入による (規職党 部長) (規職党 部規 部 (規定党 部規) (規模党 部規 計画	攻全体
(5) 新設学部等 (うち外国書) (うち外国書) (うち外国書) (フラケット) (18, 514 [10, 758] (164, 473 [40, 750]) (18, 514 [10, 758]) (174, 217 [42, 257] [18, 514 [10, 758]) (174, 217 [42, 257] [18, 514 [10, 758]) (18, 388 [8, 179]) (7, 756) (3, 416) (3, 778	
の名称 【リラが国書】 種 【ラちが国書】 点 点 点 機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入によ機械・器具:新規購入のでは、大きを体での表記書。 (174,217 [42,257] 18,514 [10,758] 8,768 [8,583] 7,872 2,119 33,778 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (4) (4) (5) (6) (7,756) (7,	曽(3) よる減
174, 217 (42, 257) 18, 514 (10, 758) 8, 768 (8, 583) 7, 872 2, 119 33, 778 (3) ○標本:機となる学科号の特定不能なため、大変を体での実用図	
生命科学研究科	
図	学全体の
記備 174, 217 (42, 257) 18, 514 (10, 758) 8, 768 (8, 583) 7, 872 2, 119 33, 778	
備	, 19640 FL
针 (127.005 [41.400]) (19.296 [10.260]) (9.299 [0.170]) (7.756) (2.416)	
計 (167, 095 [41, 409]) (18, 226 [10, 369]) (8, 388 [8, 179]) (7, 756) (3, 416)	
(6) 図 書 館 面 積 閲覧座席数 収納可能冊数 大学全体	
8, 026. 19 m 1, 383 1, 162, 000	
面積 体育館以外のスポーツ施設の概要 大学全体 既存施設の用途変更 (7)体育館 4 面(3)	のため
10,371.27㎡ 野球場2 面 テニスコート 6 面	
区 分 開設年度 完成年度 区 分 開設前年度 開設年度 完成年度	
経費 の見 教員 1 人当り研究費等 460千円 図書購入費 209千円 364千円 364千円	
程費の見 持 の 京 万	
積り及び	
学生納付金以外の維持方法の概要 私立大学等経常費補助金収入、寄付金収入、手数料収入 等	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、 ・ 設直時の計画を、申請書の様式第2号(ての T の T)に楽して作成してください。(複数のキャンハスにガかれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「 (1) 校地等」及び「 (2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C 対象学部等の数値を記入してください。)

 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 「 (5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「 (2) 」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ なき筆建物の計画の変更 (校全又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には 「建築等設置計画変更ま」

 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京 農	業大	学 ブ	、 学 院		学生募集停止学科数	22	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	8	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学研究科											
博士前期課程	2	36	_	62	_	1.06	1. 19	_	_		
農学専攻	2	14	_	28	修士 (農学)	1. 10	1. 28	_	昭和28	神奈川県厚木市船子1737	
動物科学専攻	2	12	_	24	修士 (農学)	1. 08	1.00	_	昭和61	同上	
バイオセラピー専攻	2	10	_	10	修士 (農学)	0. 95	1. 30	_	平成22	同上	
バイオサイエンス専攻	_	_	_	_	修士(バイオサイ エンス)	_	_	_	平成14	東京都世田谷区桜丘1-1- 1	令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	_	_	_	_	修士 (農芸化学)	_	_	_	昭和32	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	_	_	_	_	修士 (醸造学)	_	_	_	平成2	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	修士 (食品栄養学)	_	_	_	昭和61	同上	令和2年学生募集停止
林学専攻	_	_	_	_	修士 (林学)	_	_	_	昭和61	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	_	_	_	_	修士 (農業工学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	_	_	_	_	修士 (造園学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻	_	_	_	_	修士 (国際農業開 発学)	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻	_	_	_	_	修士 (農業経済学)	_	_	_	昭和28	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻	_	_	_	_	修士 (国際バイオ ビジネス学)	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
食品安全健康学専攻	_	_	_	_	修士(食品安全健 康学)	_	_	_	平成30	同上	令和2年学生募集停止
# 1 % ₩ = 11 to	0	10		20		0.40	0 50				
博士後期課程	3	12		36	博士	0.49	0.50	_		## W.B. E. + *** 7 4707	
農学専攻	3	5		15 12	(農学) 博士	0. 26	0.40	_		神奈川県厚木市船子1737	
動物科学専攻	3	4		9	(農学) 博士	0.50	0. 50	_	平成2	同上	
バイオセラピー学専攻 バイオサイエンス専攻	3	3		9	(農学)博士 (バイオサイ	0. 66	0. 66	_	平成24	同上 東京都世田谷区桜丘1-1- 1	人和7万兴生草焦凉
					エンス) 博士	_		_			令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	_	_		_	(農芸化学) 博士	_		_	昭和34	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	_	_	_	_	(醸造学) 博士	_		_	平成14	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	_	_	_	_	(食品栄養学) 博士	_		_	平成14		令和2年学生募集停止
林学専攻	_	_		_	(林学) 博士	_	_	_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	_	_		_	(農業工学) 博士	_	_	_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	_			_	(造園学) 博士 (国際農業開		_	_	平成14		令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻				_	発学)			_	平成14	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻 I		_			(農業経済学) 博士 (国際バイオ	_	_	_	昭和37	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻		_			ビジネス学) 博士	_	_	_	平成16		令和3年学生募集停止
環境共生学専攻 I	_			_	(環境共生学)			_	平成2	同上	令和3年学生募集停止
<u>応用生物科学研究科</u>											
博士前期課程	2	76	_	152	— 修士	0. 95	0.88	_	_	東京都世田谷区桜丘1-1-1	
<u>農芸化学専攻</u>	2	30	_	60	修工 (農学)修士	1. 01	1.00	_		·	
<u>醸造学専攻</u>	2	20	_	40	修工 (農学) 修士	1. 05	0. 95	_	令和2	同上	
<u>食品安全健康学専攻</u>	2	20	_	40	修工 (農学) 修士	0. 77	0. 70	_	令和2	同上	
<u>食品栄養学専攻</u>	2	6	_	12	修士 (農学)	0. 99	0.66		令和2	同上	

博士後期課程 3 12 — 35 — 0.33 0.33 — — 令和2 同上 魔造学専攻 3 2 — 5 (農学) 0.25 0.00 — 令和2 同上 食品安全健康学専攻 3 2 — 6 (農学) 0.33 0.66 — 令和2 同上 食品栄養学専攻 3 2 — 6 (農学) 0.50 0.50 — 令和2 同上 生命科学研究科 博士前期課程 2 70 — 140 — 2.05 — — 令和3 — 修士課程 分子生命化学専攻 2 20 — 40 (農学) 2.10 2.10 — 令和3 同上 博士後期課程 3 5 — 15 (農学) 2.20 2.20 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1.18 1.18 —	
虚芸化学専攻 3 5 一 15 (農学) 0.25 0.00 一 令和2 同上 食品安全健康学専攻 3 3 一 9 (農学) 0.33 0.66 一 令和2 同上 食品安全健康学専攻 3 2 一 6 (農学) 0.50 0.50 一 令和2 同上 生命科学研究科 博士前期課程 2 70 一 140 一 2.05 一 一 令和2 同上 がイオサイエンス専攻 2 30 一 60 修士 (農学) 1.93 1.93 一 令和3 同上 分子他生物学専攻 2 20 一 40 (農学) 2.10 二 令和3 同上 博士後期課程 3 5 一 15 一 0.00 0.00 一 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 一 64 一 1.18 1.18 一 令和3 同上	
醸造学専攻 3 2 - 5 (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学)	
金品安全健康学専攻 3 3 - 9 (展学) (農学) (農学) (農学) (農学) (農学) (農学) (農学) (農	
食品栄養学専攻 3 2 - 6 (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学) (機学)	
生命科学研究科 博士前期課程 2 70 — 140 — 2.05 2.05 — — 一 一 市和2 同上 近イオサイエンス専攻 修士課程 分子生命化学専攻 分子微生物学専攻 2 20 — 40 修士 (農学) 2.10 2.10 — 令和3 同上 分子微生物学専攻 がイオサイエンス専攻 3 5 — 15 — 0.00 0.00 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1.18 1.18 — — 一 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1.18 1.18 — — —	
博士前期課程 2 70 — 140 — 2.05 2.05 — 一 介和3 東京都世田令区桜丘1-1-	
博士前期課程 2 70 — 140 — 2.05 2.05 — 一 介和3 東京都世田令区桜丘1-1-	
バイオサイエンス専攻 修士課程 分子生命化学専攻 分子微生物学専攻 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	
修士課程 分子生命化学専攻 分子微生物学専攻 2 20 — 40 (農学) (農学) 2.10 2.10 — 令和3 同上 分子微生物学専攻 博士後期課程 3 5 — 15 — 0.00 0.00 — 一 バイオサイエンス専攻 博士前期課程 3 5 — 15 (農学) 0.00 0.00 — 令和3 同上	
分子微生物学専攻 2 20 — 40 (農学) 修士 (農学) 2.20 — 令和3 同上 博士後期課程 3 5 — 15 — 0.00 0.00 — 一 近イオサイエンス専攻 3 5 — 15 (農学) 0.00 0.00 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1 18 1 18 — —	
分子微生物学専攻 2 20 40 修士 (農学) 2.20 2.20 一 令和3 同上 博士後期課程 3 5 — 15 — 0.00 0.00 — 一 令和3 同上 北付オサイエンス専攻 3 5 — 15 (農学) 0.00 0.00 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1 18 1 18 — — — —	
博士後期課程 3 5 — 15 — 0.00 0.00 — — — 15 博士 0.00 0.00 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1.18 1.18 — — —	
パイオサイエンス専攻 3 5 — 15 博士 (農学) 0.00 0.00 — 令和3 同上 地域環境科学研究科 博士前期課程 2 32 — 64 — 1 18 1 18 — —	
<u>ハイス サイエンス 墓域</u> 3 一 15 (農学) 0.00 0.00 一 5 和3 同上 1 地域環境科学研究科 1 18 1 18 一 一 一 一 1 18 1 18 一 一 一 一 一 1 18 1 18 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
数 +	
<u>林学専攻</u> 2 8 — 16 <u>修士</u> 1.00 1.00 — 令和3 ^{東京都世田谷区桜丘1-1-}	
■ 典 ★ 工 労 車 7	
<u>造園学専攻</u> 2 10 — 20 (機学) 1.40 1.40 — 令和3 同上 修士課程	
<u>地域制度性手等な</u> 2 0 ― 12 (農学) 1.33 ― 1.43 岡工	
博士後期課程 3 6 — 18 — 0.50 0.50 — — —	
<u>林学専攻</u> 3 2 — 6 ^{博士} 0.50 0.50 — 令和3 同上	
<u>農業工学専攻</u> 3 2 — 6 ^{博士} 1.00 1.00 — 令和3 同上	
<u>造園学専攻</u> 3 2 — 6 <mark>博士</mark> 0.00 0.00 — 令和3 同上	
国際食料農業科学研究科	
博士前期課程 2 43 — 86 — 0.72 0.72 — — — <u>国際農業開発学専攻</u> 2 18 — 36 (修士) (應堂) 0.55 0.55 — 令和31 令和31	
農業経済学専攻 2 8 — 16 (修士 (農学) 0.62 0.62 — 令和3 同上	
国際アグリビジネス学専攻 2 10 — 20 修士 0.60 0.60 — 令和3 同上	
修士課程	
<u>国際食農科学専攻</u> 2 7 — 14 ^{修士} 1.42 1.42 — 令和3 同上	
博士後期課程 3 6 — 18 — 1.33 1.33 — — —	
国際農業開発学専攻 3 2 — 6 博士 2.50 2.50 — 令和3 同上	
典学叙文学専な 2 2 6 博士 0.50 0.50 今和2 同 b	
(\overline{\pi} + \)	
国際アグリビジネス学専攻 3 2 - 6 (農学) 1.00 1.00 - 令和3 同上	
 生物産業学研究科	
博士前期課程 2 20 — 40 — 1.12 0.85 — — —	
生物生産学専攻 2 7 — 14 修士 1.13 0.85 — 平成22 北海道網走市八坂 1.13 0.85 — 平成22 北海道網走市八坂 1.13 0.85 — 1.13	
マクマバノナ学事故 2 5 10 修士 1 10 0 90 平成22 日上	
金口子が出まな 2	
長前省梃字等攻 2 3 — 10 (農学) 1.30 1.20 — 平风22 同工	
【 産業経営学専攻	
博士後期課程 3 8 — 24 — 0.66 0.25 — — —	
生物産業学専攻 3 8 — 24 ^{(農学又}	
大学院全体	

大学の名称	東	京 農	業大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
農学部		558		2, 232		1. 03	1. 01	_	_	神奈川県厚木市船子1737	
農学科	4	170	_	680	学士 (農学)	1. 03	1.00	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△16)
動物科学科	4	140	_	560	学士 (農学)	1. 04	1. 07	_	昭和24	同上	H31編入定員変更 (△10)
生物資源開発学科	4	125	_	500	学士 (農学)	1. 04	1.00	_	平成30	同上	
デザイン農学科	4	123	_	492	学士 (農学)	1. 01	0. 98	_	平成30	同上	
応用生物科学部		570		2, 280		1. 04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
農芸化学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1.00	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>醸造科学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 05	1. 08	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
食品安全健康学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成26	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>栄養科学科</u>	4	120	_	480	学士 (農学)	1. 04	1. 02	_	平成10	同上	H31編入定員変更 (△4)
生命科学部		410		1, 640		1. 04	1. 04			東京都世田谷区桜丘1-1- 1	
<u>バイオサイエンス学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成29	同上	
<u>分子生命化学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成29	同上	
<u>分子微生物学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 06	1. 04	平成30	平成29	同上	
地域環境科学部		490		1, 960		1. 03	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
<u>森林総合科学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△6)
<u>生産環境工学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 02	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△3)
<u>造園科学科</u>	4	130	_	520	学士 (農学)	1. 03	1. 05	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△20)
<u>地域創成科学科</u>	4	100	_	400	学士 (農学)	1. 05	1. 07	平成30	平成29	同上	
国際食料情報学部		600		2, 400		1. 03	1. 03			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
<u>国際農業開発学科</u>	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 02	1. 03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
<u>食料環境経済学科</u>	4	190	_	760	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	_	600	学士 (農学)	1. 03	1. 02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△5)
<u>国際食農科学科</u>	4	110	-	440	学士 (農学)	1. 04	1.06	平成30	平成29	同上	
生物産業学部		363		1, 452		1. 02	0. 95			北海道網走市八坂 196	
北方圏農学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 02	0. 92	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (Δ10) R02編入定員変更 (Δ10)
海洋水産学科	4	91	_	364	学士 (農学)	1. 06	1. 05	_	平成18	同上	R02入学定員変更(11)
食香粧化学科	4	91	_	364	学士 (農学)	0. 97	0. 91	_	平成1	同上	R02入学定員変更 (11) R02編入定員変更 (△12)
自然資源経営学科	4	90	_	360	学士 (経営学)	1. 03	0. 92	_	平成1	同上	R02編入定員変更 (△5)
大学全体	4	2, 991	_	11, 964	_	_	_	_			

大学の名称	東	京情	報大	学			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度					
総合情報学部 総合情報学科	4	400	人 3年次 10	1, 620	学士(総合情 報学)	1. 16	1. 12	_	平成25	千葉県千 4-1	葉市若葉	区御成台		
看護学部														
看護学科	4	100	_	400	学士(看護 学)	0. 87	1.00	_	平成29		同上			
大学全体	4	500	3年次 10	2, 020	_	_	_	_	_			_		
大学の名称	東	京情	報大	学 オ	学 院		学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数			0	備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍							
総合情報学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻	2	15	_	30	修士(総合情報 学)	0. 53	0. 66	_	平成4	千葉県千 4-1	葉市若葉	医鱼鱼成台		
博士後期課程 総合情報学専攻	3	3	_	9	博士(総合情報 学)	0. 11	0.00	_	平成11		同上			
大学院全体	_	18	_	39	_	_	_	_	_			_		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	2
名	名	名

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学院】

	Ē	设置 時	の 計 i	■				Į	見在(報	告時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准教	授	講師	助 教	計 (B)	助手 (B')
(5)	6	0	0	10	0 (0)	5	5		0	0	10	0
	指導教員 研究指導補 数 教員数		人 義のみ担当 の教員数	(10)		研究指導教数	女員 研	f究指導 教員		 講義のみ担当 の教員数		
(5)	4 6		0 (0)			5		5		0		
			完成年度時	の状況			現	在(韓	设告時)	の完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師 助教		計 (C)	助手 (C')	教 授	准教	授	講師	i 助教	計 (D)	助手 (D')
5	5	0	0	10	0	5	5		0	0	10	0
[1]	[△1]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[∆1	Ι]	[-]	[-]	[-]	[-]
研究指導教 数	す員 研究指 教員	導補助 講	義のみ担当 の教員数			研究指導教 数	好員 研	究指導 教員		講義のみ担当 の教員数		
5 [1]	! Δ]	`	10 [-]			5 [1]		5 Г∆1	1	10 [-]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定 年年齢(歳)		完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 70	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 100

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) 10

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号職位 専任教員氏名 時期 🚧				必修・選択・自由	D9I -	担当予定科目	後	£補充キ	犬況	京	尤任辞 退	人	就任)の理	由		
				該当なし													
-							-										
-							-										
	合計			(D)						往	长任補充状況	の集計	(E)				
	京	えだ る	を辞	退した教員数	担当科目	数の合計	(a) +	+ (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数 (b)		③の合計	†数(c	:)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					ā	†	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した<u>全ての専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	1091	担当予定科目	後日 後日	補充状	況		辞	任等	の理由			
				該当なし														
							_											
							_		_									
				合計	(F)		•				後	经任補充状況	の集計	(G))			
		辞	任l	した教員数	担当科目	目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合詞	十数 (a)	②の合計	†数 (b)		③の合計	✝数	(c)	
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	(0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	(0	科目
			0	, ,	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	(0	科目
					Ē	i l	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	(0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)					後任補	充状況の集	計(E) +	(G)		
辞任等した教員	員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	ł数(b)	③の合	計数	(c)
		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	() 科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	() 科目
0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	() 科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	() 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = 0 10 0 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	5定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該当なし												
	1			計					1	後任補充物	犬況の賃	集計			
	ŧ	辛任し	した教員数	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数(b))	③の合計	数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和2年)	該当なし	***************************************	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学研究科 分子微生物学専攻(M)>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	授業等については、原則、対面で実施しているが、オンラインでの実施やオンデマンド配信(2開講分)を認め、柔軟な対応を行い、必要な学修時間を確保する。今後、大幅な変更を行うような状況になった場合は、学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会並びに大学院教学検討委員会があり、大学教員としての 資質の維持向上を図っている。

また、専攻主任会議において大学院としての取り組みを行っている。

※関係規程等「東京農業大学全学審議会規程(資料1)」「東京農業大学大学院学則(資料2)」 「東京農業大学大学院専攻主任会議規程(資料3)」「全学審議会設置委員会(一部抜粋)(資料4)」 「東京農業大学教学検討委員会内規(資料5)」

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

大学院教学検討委員会は、令和2年度は4回(7/28、9/28、11/30、3/16)開催され、委員は研究科委員長、専攻主任から選出された者、教務支援部長の役職者を充てている。また、副学長(教学担当)がオブザーバーとして参加する。

専攻主任会議は毎月開催され、構成員は研究科委員長、各専攻主任教授となっている。

- c 委員会の審議事項等
 - 大学院教学検討委員会活動計画に関する事項
 - ・大学院FD活動に関する事項(大学院満足度・授業評価アンケート項目の改善と実施、及び改善計画書の策定)
 - ・ファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項(一貫教育WG、GPAに関するWG、学生研究支援WG、ナンバリングWG)
 - ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項
 - ・ 論文審査に関する事項
 - その他

② 実施状況

- a 実施内容
- ① 新任教員のための研修会
- ② 大学院満足度・授業評価アンケート実施と専攻へのフィードバック及び改善計画書の策定
- ③ 障がいのある学生の支援会議
- ④ 世田谷プラットフォーム主催 F D シンポジウム(国士舘大学、駒澤大学、成城大学、昭和女子大学、 東京都市大学、東京農業大学)の企画
- b 実施方法
- ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、建学の精神、教員の心得、ハラスメント防止、研究活動の適正な実施等について説明を行った。更に、学部学科、専攻単位で独自の研修やフォローアップを行っている。
- ② 大学院生を対象として前・後学期に各1回「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、実施結果をフィードバックし、各専攻に改善計画の策定を依頼した。
- ③ 教職員を対象とし、障がいのある学生の主学支援会議を開催した。
- ④ コロナ禍の新たな試みとして、Zoomでのオンライン開催とした。

- 開催状況(教員の参加状況含む)

 - ① 令和2年度は、全体研修を4月15日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。 ② 令和2年度は前期は8月に、後期は1月に「大学院満足度・授業評価アンケート」を実施し、令和3年 1月に令和元年度後期と令和2年度前期のアンケート結果に基づいた改善計画の策定を依頼した。 - トの結果は担当所管窓口において公開(閲覧)している。 した。また、
 - ③ 令和2年度は、11/27に障がいのある学生の就学支援会議をZoomにより実施し、50名弱が参加した。
 - ④ 6大学それぞれから「オンライン授業の質保証」として、ご講演いただいた。
- 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長で ある研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化
- させることができた。 「大学院満足度・授業評価アンケート」に基づき、より具体的な改善計画を策定することで、 授業にとどまらず日常の研究指導等についても現状の理解を深め、対応することができている。
- ③ 障がいのある学生の支援方法について、そのプロセスから具体的な方法を再共有することができた。
- ハラスメント講習会では、ハラスメントの防止を主に発生した場合の対応についも理解を深めた。 ④ コロナ禍における各大学のオンライン授業の実施方法を共有することで、教員の意識も高まり、 質の向上につなげることができた。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。(学生ポータルサイト利用によるアンケート)

- b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・ 集計結果を専攻主任・主事に回覧し、専攻内教員での共有を依頼し、専攻としての改善計画を策定して いる。
 - ・ 学生に対しては、担当所管窓口において公開(閲覧)している。
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項
- ※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻修士課程では、生命科学の最先端知識・技術の修得を通して、特に目に見えないミクロの生物圏における学術 知識の習得を重視した教育研究を推進し、安全な微生物の取扱や微生物機能の特性を考慮した微生物利用を可能にする 能力を養成する。

開設1年目にあたる令和3年度は、新入生44名を迎え入れ、44名の学生に対して専攻の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - •令和3年7月31日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和3年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成31年度(令和元年度)に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し適合認定
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

_									
C) 討	设置計画履行状況報告	書(令和3年度	Ę)				
	а	公表予定の有無	(有		無	J		
«	b	で「有」の場合≫ 公表(予定)時期 公表方法		調査結果な ウェブサイ			・ 公表後2~3ヶ月以内 その他(公表後3ヶ月以降]
«		ご公表「無」の場合≫ 公表しない理由	()

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。